

# 令和4年度 業務実績報告書

令和5年6月



地方独立行政法人  
岐阜県立多治見病院

# I 法人の概要

## 1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況 令和4年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	近藤 泰三	院長
副理事長	後藤 賢也	副院長兼事務局長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科統括部長
理事	梶川 真樹	副院長兼外科統括部長
理事	日比野 剛	副院長兼内科統括部長
理事	東 智美	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ株式会社代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

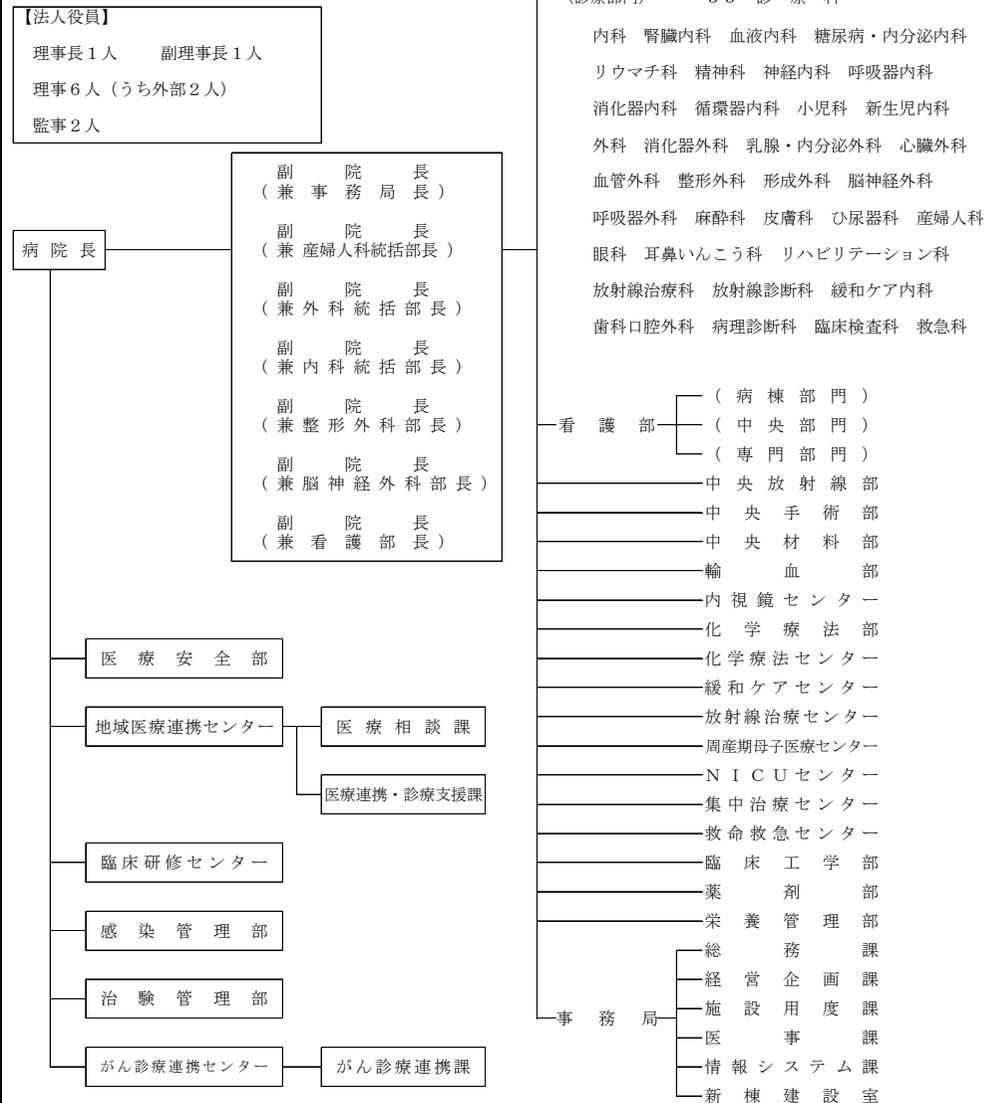
## (5) 職員数(令和4年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	171	1	172
看護師	482	189	671
コメディカル	200	23	223
事務等	61	118	179
合計	914	331	1,245

## (6) 組織図

令和4年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、東濃圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高精度放射線治療装置の充実による先進的かつ効果的な治療の実施、院内保育施設の移転新築による職員の就労環境の整備、経常収支比率100%以上を達成するなど着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は築30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となってきており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を、平成30年6月に基本設計、令和元年8月に実施設計を策定し、令和3年7月に業者の入札、令和3年9月には建設工事に着手した。今後は、令和6年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
平成29年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver1.1)の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）
令和4年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver2.0)の認定取得
令和4年	10月	病床数を561床へ変更（精神科病床9床廃止）
令和5年	1月	病床数を553床へ変更（一般病床8床廃止）

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア / レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	553床（一般501床：結核13床：精神33床：感染症6床）
年間延べ患者数 (令和4年度)	入院 : 144,878人 外来 : 263,960人

## II 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、医療需要などの将来予測を踏まえながら診療事業を推進した。

より質の高い医療の提供のために、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、ICT（情報通信技術）の活用、入退院支援の充実、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、施設改修や患者給食の向上による院内環境の整備や、よろず相談、がん相談等の実施による相談体制の充実、逆紹介の推進等を実施した。また、患者や周辺住民からの病院運営に関する意見を反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、委員らとの意見交換を行った。

診療体制の充実については、退院支援が必要な患者に対し、入院後のスクリーニングとカンファレンス等を実施した。また、連携推進協議会等の開催を通じて、地域の医療機関と情報交換を行い、医療ニーズの把握に努めた。

地域医療支援病院として、訪問活動を通じて近隣医療機関との役割分担の明確化と連携強化を図っており、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持した。（紹介率73.3%、逆紹介率100.5%）

重点的に取り組む医療として、がん医療においては、引き続き高精度放射線治療装置の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等、正確で質の高い放射線治療を提供した。救急医療においては、RRS（院内迅速対応システム）構築のため、モバイルタブレット等を整備した。また、救急外来の処置ベッドが不足しているため、各部署と調整をとりながら患者受入を可能とする体制を整え、明確な案内表示を実施した。

#### 1-2 調査研究事業

臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に取り組んだ。

診療に関する情報は分析・集計した上で一元的に管理し、必要な情報が適時に提供できる体制の下、経営改善への指標となる数値が管理会議や各種委員会に報告、周知された。

「QI事業」には引き続き参加し、データの提出後、フィードバックされたベンチマーク結果を院内に周知した。また、DPCデータや各種情報システムを活用し、診療報酬委員会での分析、及び各部門への診療情報の提供を行った。

#### 1-3 教育研修事業

内科領域、外科領域及び精神科領域においては、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で6名、外科領域で1名を採用した。

コロナ禍においても、医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対しては、病院実習の実施のほか、救急入院後の事後検証会を定期的に開催するなど医療技術の向上を支援した。

県立多治見看護専門学校に対しては、当院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。

#### 1-4 地域支援事業

開業医への訪問活動を通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進を図るとともに、国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、近隣の教育機関からコメディカル実習生の受け入れも行った。

岐阜県病院協会を、当院長を学会長として多治見市のセラミックパークMINOで開催し、講演、セミナー、演題発表が行われ地域医療水準の向上に寄与した。

病院ホームページに新たなコンテンツを設け、院内での取り組みや新中央診療棟の情報発信を行うなど積極的な情報発信を展開した。

#### 1-5 災害等発生時における医療救護

災害時に院内の被災状況を把握するための情報システムを更新し、現場からの情報入力や本部における情報収集を行うBCP訓練を実施した。

遠隔地でバックアップしている診療情報データについて、サイバー攻撃に備えるため、最新のデータだけでなく過去のデータも保管する、世代別管理の保管とするよう委託契約を変更した。

感染症指定医療機関として、近隣の病院やクリニック、保健所と連携し、感染症にかかわる情報共有や感染対策の支援を可能とする体制整備を行った。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

救急外来及び救急救命センターのマネジメントの充実を図るため、救急集中治療科を新設し、救命医を増員した。

ICT（情報通信技術）の活用においては、バイタルモニタデータについて、モバイル端末で波形も閲覧できるよう開発した。

診療報酬については、DPCコーディング業務を引き続き病院職員で行い、診療内容や副傷病などを細かく点検することによって、より適切なコーディングに努めた。

多様な契約手法の導入について、新中央診療棟の契約にあたり、施主支給品は一般競争入札を実施し、新棟移転業務については外部委託とし、業務の品質を確保するため、公募型プロポーザル方式を採用するなど、適正な契約事務を実施した。

収入の確保においては、医療相談担当と医事担当が連携し、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入する等により、未収金発生 の未然防止に取り組んだ。

費用については、診療材料の共同購入による費用の削減や、後発医薬品の使用率を高水準（89.79%）で維持すること等により、節減に努めた。

## 3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院診療単価及び外来診療単価が昨年度比で増加したが、新規入院患者数が減少となり、外来患者数も微増であったため、昨年度と比べ医業収益において1.2%の減となった。収益全体でも、入院収益等の減により0.2%（0.4億円）の減となった。また、計画に比べ医業収益において3.4%の減、収益全体で0.2%（0.4億円）の減となった。

[費用] 薬品費、診療材料費の増により、昨年度と比べ医業費用で2.9%の増。費用全体では、2.6%（5.4億円）の増となった。また、計画に比べ医業費用において1.5%の増、費用全体では0.3%（0.7億円）の減となった。

この結果、単年度収支は6億9千万円の赤字となり、経常収支比率も96.8%で、昨年に引き続き目標である100%以上を達成することができなかった。職員給与費対医業収益比率は、目標50%以下に対して、54.2%となった。業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益	20,711,214千円
営業外収益	105,153千円
営業費用	20,497,267千円
営業外費用	997,554千円

## 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、院長、副院長を構成員とする働き方改革会議を毎月実施し、各部門ごとの時間外勤務の状況や各医師の時間外勤務の推移を把握し、長時間労働該当医師の診療科部長に対し文書で注意喚起を行った。また、医師の時間外勤務上限規制開始を見据え、医師を対象とした勤怠管理システムを導入し、勤怠管理の合理化に努めた。

福利厚生では、新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当等の支給を継続し、モチベーションの維持に努めた。

職員の健康管理については、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行い、健康管理対策の充実に努めた。

新中央診療棟整備については、5月から基礎躯体工事、免震工事を着工し、10月には躯体、鉄骨建て方工事を着工し、概ね計画どおりに工事が進捗している。

新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器については、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画を策定した。機器の購入にあたっては、過剰な整備とならないよう、現場を熟知している臨床工学技士と連携し、機器整備の必要性・妥当性を確認したうえで決定した。また、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	III	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	III	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	III	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	IV	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	IV	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	IV	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	IV	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	17	IV	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	III	
2-1-3 人事評価システムの運用	19	III	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	III	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	21	III	
2-1-6 適切な情報管理	22	IV	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	IV	
2-2-2 収入の確保	24	III	
2-2-3 費用の削減	25	III	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	26	II	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	III	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	IV	
8-4 内部統制の充実強化	30	III	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	III	
8-6 年度計画における主な計画数値	32	III	
8-7 積立金の使途	33	III	

#### IV 財務情報及び人員に関する情報

指 標	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
経常収益 (千円)	18,824,930	19,022,733	19,606,644	20,844,128	20,816,367
経常費用 (千円)	18,788,919	19,921,438	20,195,136	20,959,164	21,494,821
経常利益 (千円)	36,011	△898,705	△588,492	△115,036	△678,454
従事人員数 (人)	1,166	1,242	1,287	1,265	1,245

#### V 項目別の状況

主な指標 (3 予算 (人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	
			経常収支比率	100%を超過	95.5%	100.2%	95.5%	97.1%
医業収支比率	100%を超過	96.7%	99.8%	96.7%	91.3%	95.5%	91.8%	
職員給与費対医業収支比率	50%未満	54.4%	52.5%	54.4%	58.0%	53.0%	54.2%	

#### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供            法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。            特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。            また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用に努めること。            さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上            来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。            また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	---

※ 診療体制の充実  
医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。

※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携  
医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。  
近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。  
また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。  
さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。

※ 重点的に取り組む医療  
高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。  
特に、「救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。  
救急医療については、地域の医療機関等との連携の推進や新中央診療棟の整備に伴う高度な医療の提供等により、東濃圏域の中核病院として重症救急患者への対応を強化すること。  
がん医療については、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる治療に加え、患者の就労も含めた相談支援の充実を図るなど、拠点病院としての機能を強化すること。また、地域の医療機関等との連携の強化や、緩和ケアを提供できる人材の育成・確保等により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。  
また、新中央診療棟整備に合わせて、レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の整備をすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画の更新を行った。</li> <li>高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に支障をきたすと思われる医療機器を中心に整備を行った。</li> </ul> <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エックス線 CT 撮影装置</td> <td>エックス線を使って体の横断面を撮影し、病気の精密検査、手術前の精密検査、術後や抗がん剤使用中の経過観察、肺炎などの炎症の有無確認などに使用する。</td> </tr> <tr> <td>全自動錠剤分包機</td> <td>錠剤の分包業務及び監査業務を自動化することで、分包業務の効率化・安全遂行・作業人数省力化を図る。</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>エックス線は使用しない画像検査装置で、超音波の送受信を行うプローブを見たい部分に当てて、対象物の内部</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備目的・用途	エックス線 CT 撮影装置	エックス線を使って体の横断面を撮影し、病気の精密検査、手術前の精密検査、術後や抗がん剤使用中の経過観察、肺炎などの炎症の有無確認などに使用する。	全自動錠剤分包機	錠剤の分包業務及び監査業務を自動化することで、分包業務の効率化・安全遂行・作業人数省力化を図る。	超音波診断装置	エックス線は使用しない画像検査装置で、超音波の送受信を行うプローブを見たい部分に当てて、対象物の内部	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師数は9名増となったが、看護師の確保が難航し31名減となった。今後、看護部ホームページや就職情報サイトの活用、院内の若手職員を中心に「看護職員等確保・離職防止対策チーム」を発足し、看護師確保に向け取り組んでいく。(●)</li> <li>福利厚生対策として、院内保育施設にて、夜間保育・休日保育・病児保育を実施した。夜間保育（木曜日）利用者数は0人、病児保育利用者数は延べ77人、休日保育実施日数は52日。</li> </ul> <p>【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>126</td> <td>136</td> <td>151</td> <td>156</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>490</td> <td>477</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>173</td> <td>185</td> <td>199</td> <td>199</td> <td>198</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医師	126	136	151	156	165	看護師・助産師	484	476	490	477	446	コメディカル	173	185	199	199	198	IV	高度医療機器の整備や医療連携ネットワークの構築、医療安全対策や院内感染防止対策の充実ぶりを評価。
機器名	整備目的・用途																																				
エックス線 CT 撮影装置	エックス線を使って体の横断面を撮影し、病気の精密検査、手術前の精密検査、術後や抗がん剤使用中の経過観察、肺炎などの炎症の有無確認などに使用する。																																				
全自動錠剤分包機	錠剤の分包業務及び監査業務を自動化することで、分包業務の効率化・安全遂行・作業人数省力化を図る。																																				
超音波診断装置	エックス線は使用しない画像検査装置で、超音波の送受信を行うプローブを見たい部分に当てて、対象物の内部																																				
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																
医師	126	136	151	156	165																																
看護師・助産師	484	476	490	477	446																																
コメディカル	173	185	199	199	198																																

項目No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																												
5	コメディカルに対する専門研修の実施																																																																																																																																																																
6	専門性を発揮したチーム医療の推進	個人用多用途透析装置																																																																																																																																																															
7	ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)等の活用																																																																																																																																																																
8	入院支援の充実																																																																																																																																																																
9	医療事故防止等医療安全対策の充実																																																																																																																																																																
10	院内感染防止対策の充実																																																																																																																																																																
		<p>の形状を画像に映し出し内臓や胎児などの検査をするために用いる。</p> <p>急性または慢性腎不全患者等を治療する目的で、血液透析ろ過、血液透析及び血液ろ過を行う場合に用いる透析用監視装置。酢酸不耐性疑いの患者に対する透析を実施できる。</p> <p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT(感染防止対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)やRST(呼吸ケアサポートチーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT(緩和ケアチーム)、糖尿病チームなどの活動を推進するとともに、各病棟での多職種カンファレンスを定着させるよう働きかけた。</li> <li>新たに麻酔科医・薬剤師、手術看護認定看護師で構成する「術後疼痛管理チーム」が結成され、令和5年4月から術後患者を対象に術後疼痛緩和を目的とした回診を行うこととなった。</li> <li>クリニカルパスの新規登録を進め、新たに10件のクリニカルパスが登録された。引き続きバリエーションのデータ収集に努めており、委員会で医療の質向上を図っている。</li> </ul> <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>121</td> <td>68</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>223</td> <td>128</td> <td>142</td> <td>147</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.5%</td> <td>46.6%</td> <td>45.3%</td> <td>45.0%</td> <td>49.9%</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名\年度	H30	R1	R2	R3	R4	産婦人科	28	17	19	19	16	整形外科	15	12	12	12	12	呼吸器科	23	2	4	4	4	外科・消化器外科	22	12	11	13	13	循環器科	14	17	22	23	20	その他	121	68	74	76	90	合計	223	128	142	147	155	H30	R1	R2	R3	R4	47.5%	46.6%	45.3%	45.0%	49.9%	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による研修を実施した。(計20回開催)</li> <li>岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に上級医3名が参加した。</li> <li>内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を実施した。(7月・2月開催)</li> </ul> <p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定行為研修、認定看護師教育課程の受講者はなかった。令和5年度は、特定行為研修を1名受講予定。(●)</li> <li>その他の資格関連研修で、医療安全管理者養成研修3名、小児在宅移行支援研修2名、DMAT研修1名、DPAT先遣隊研修1名、災害時小児周産期リエゾン養成研修1名受講した。</li> </ul> <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位:人(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">認定</td> <td>皮膚・排せケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護(クリティカルケア看護へ移行)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>手術看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分野	H30	R1	R2	R3	R4	認定	皮膚・排せケア	3	3	3	3	2	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	2	2	3	3	3	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	2	2	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護(クリティカルケア看護へ移行)	1	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1	糖尿病看護	1	1	2	2	2	認知症看護	1	1	1	2	2	訪問看護	1	1	1	1	1	手術看護	1	1	1	1	1		
診療科名\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																												
産婦人科	28	17	19	19	16																																																																																																																																																												
整形外科	15	12	12	12	12																																																																																																																																																												
呼吸器科	23	2	4	4	4																																																																																																																																																												
外科・消化器外科	22	12	11	13	13																																																																																																																																																												
循環器科	14	17	22	23	20																																																																																																																																																												
その他	121	68	74	76	90																																																																																																																																																												
合計	223	128	142	147	155																																																																																																																																																												
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																													
47.5%	46.6%	45.3%	45.0%	49.9%																																																																																																																																																													
区分	分野	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																											
認定	皮膚・排せケア	3	3	3	3	2																																																																																																																																																											
	集中ケア	2	2	2	2	2																																																																																																																																																											
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	がん化学療法看護	2	2	3	3	3																																																																																																																																																											
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	感染管理	2	2	2	2	2																																																																																																																																																											
	新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	救急看護(クリティカルケア看護へ移行)	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	糖尿病看護	1	1	2	2	2																																																																																																																																																											
	認知症看護	1	1	1	2	2																																																																																																																																																											
	訪問看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	手術看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																														
		<p>7 ICT (情報通信技術) やAI (人工知能) 等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携ネットワーク (たじみのネット) を構築し、令和4年8月から運用を開始した。また、その活用を促進するため、近隣の医療機関への訪問を実施した。登録医療機関: 25 施設、登録医師 37 名、登録患者 51 名。</li> <li>増加しつつあるオンライン会議等に対応するため、課内の手順の操作やスタッフの研修を行うとともに、ディスプレイ等の機器の管理を強化、補強した。</li> <li>AI 画像診断の運用強化のため、プログラムのカスタマイズを実施した。</li> <li>インターネット回線のオーバーロード (複数回線による冗長化、大容量化) と情報セキュリティ機能強化を実施した。</li> </ul> <p>8 入退院支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入退院支援センターにおいて外来との連携を強化した結果、入院前支援件数は 726 件となり、早期支援を積極的に実施できた。</li> <li>整形外科と腎臓内科をモデル診療科として、リハビリや手術室のスタッフと連携し、入院前支援を実施した。</li> <li>患者用説明パスについて、新たに歯科口腔外科、乳腺内分泌外科、泌尿器科で作成し活用を開始した。</li> <li>東濃情報交換会を年 3 回オンラインで実施し、地域内の病院や施設、訪問看護ステーション等と情報共有を図った。</li> </ul> <p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全講演会について、心理的安全性、コンフリクトマネジメント等について、eラーニングで講義を実施し、今後の対応に活用できる内容とした。</li> <li>インシデント・アクシデント事案の収集・分析結果の検討や、公益財団法人日本医療機能評価機構等が発信する最新の医療安全に関する情報収集を行い、院内の各種マニュアルや手順書に反映させる等、継続的に見直しを実施した。</li> <li>臨床工学技士による新人看護師向けの研修や、医療機器導入時の取り扱い研修を実施し、安全対策に努めた。</li> <li>医療安全点検を実施し、3ヶ月ごとに評価を行い、麻薬の適正使用・保管の遵守を啓発した。</li> <li>医療安全地域連携加算 1-1、1-2 施設間合同カンファレンスを実施し、医療安全のチェックリストに沿ってお互いの取組みを話し、評価</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>透析看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>心不全看護</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。</li> </ul> <p>【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">資格取得・認定件数(件)</th> <th colspan="5">学会研修会等延べ参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬剤師</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">3</td> <td>参加</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>42</td> <td>74</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線技師</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">33</td> <td>参加</td> <td>314</td> <td>251</td> <td>213</td> <td>307</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床検査技師</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">3</td> <td>参加</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>9</td> <td>28</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床工学技士</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">7</td> <td>参加</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>22</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリ技師</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">19</td> <td rowspan="2">20</td> <td rowspan="2">22</td> <td rowspan="2">33</td> <td>参加</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>19</td> <td>41</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">管理栄養士</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">0</td> <td rowspan="2">0</td> <td rowspan="2">4</td> <td>参加</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">24</td> <td rowspan="2">45</td> <td rowspan="2">35</td> <td rowspan="2">44</td> <td rowspan="2">83</td> <td>参加</td> <td>515</td> <td>477</td> <td>290</td> <td>473</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>7</td> <td>23</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>		透析看護	1	1	1	1	1		心不全看護	—	—	—	1	1		小計	21	21	23	25	24	専門	がん看護	2	2	3	3	3		急性・救急看護	1	1	1	1	1		認定看護管理者	1	1	1	1	1	項目	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等延べ参加者数(人)					H30	R1	R2	R3	R4	区分	H30	R1	R2	R3	R4	薬剤師	3	8	6	9	3	参加	64	70	42	74	102	発表	9	5	2	2	12	放射線技師	6	6	3	8	33	参加	314	251	213	307	144	発表	20	19	5	20	18	臨床検査技師	9	7	2	3	3	参加	42	38	9	28	56	発表	2	4	0	0	3	臨床工学技士	1	3	4	2	7	参加	25	16	6	22	31	発表	3	1	0	0	4	リハビリ技師	3	19	20	22	33	参加	60	90	19	41	85	発表	4	8	0	1	14	管理栄養士	2	2	0	0	4	参加	10	12	1	1	14	発表	1	1	0	0	1	合計	24	45	35	44	83	参加	515	477	290	473	432	発表	39	38	7	23	52		
	透析看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	心不全看護	—	—	—	1	1																																																																																																																																																																																													
	小計	21	21	23	25	24																																																																																																																																																																																													
専門	がん看護	2	2	3	3	3																																																																																																																																																																																													
	急性・救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	認定看護管理者	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
項目	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等延べ参加者数(人)																																																																																																																																																																																													
	H30	R1	R2	R3	R4	区分	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																																								
薬剤師	3	8	6	9	3	参加	64	70	42	74	102																																																																																																																																																																																								
						発表	9	5	2	2	12																																																																																																																																																																																								
放射線技師	6	6	3	8	33	参加	314	251	213	307	144																																																																																																																																																																																								
						発表	20	19	5	20	18																																																																																																																																																																																								
臨床検査技師	9	7	2	3	3	参加	42	38	9	28	56																																																																																																																																																																																								
						発表	2	4	0	0	3																																																																																																																																																																																								
臨床工学技士	1	3	4	2	7	参加	25	16	6	22	31																																																																																																																																																																																								
						発表	3	1	0	0	4																																																																																																																																																																																								
リハビリ技師	3	19	20	22	33	参加	60	90	19	41	85																																																																																																																																																																																								
						発表	4	8	0	1	14																																																																																																																																																																																								
管理栄養士	2	2	0	0	4	参加	10	12	1	1	14																																																																																																																																																																																								
						発表	1	1	0	0	1																																																																																																																																																																																								
合計	24	45	35	44	83	参加	515	477	290	473	432																																																																																																																																																																																								
						発表	39	38	7	23	52																																																																																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																	
		<p>し合った。また、各病院が抱える安全に関する課題についても共有し合い、現在取り組んでいる対策を伝え合うことで、互いの参考とし、生かすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名前と生年月日など二つの識別子による患者確認を行っており、重大な患者誤認によるアクシデントは起こっていない。</li> </ul> <p><b>【インシデント・アクシデント件数】</b> 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="481 475 1131 616"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,344</td> <td>3,895</td> <td>4,007</td> <td>4,305</td> <td>3,960</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,371</td> <td>3,923</td> <td>4,031</td> <td>4,334</td> <td>3,978</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【医療安全講演会開催実績】</b> 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="481 679 1037 1070"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「採血の注意事項」 「コンフリクトマネジメント」 「心理的安全性と医療安全文化」</td> <td>1,081</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>「予期せぬ急変を防ぐ RRS の概念と実際」 「重大事故発生時の対処法」 「RRS でコードブルーを防げ！」</td> <td>1,069</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止委員会を毎月開催し、感染の発生状況や感染対策活動の報告をし、注意喚起、感染対策の周知徹底を継続した。また、電子カルテの掲示板や院内メールを活用し、職員へ注意喚起、感染対策の周知徹底を行った。</li> <li>毎週院内分離菌情報をもとにリスク評価を行い、通常の ICT ラウンドに加え、リスクの高い病棟に対しての ICT ラウンドを実施した。また、結果を感染対策委員会、看護部感染対策委員会等にフィードバックした。</li> <li>新型コロナウイルスワクチン接種に関してメール等で情報提供を行い、ワク</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	インシデント	3,344	3,895	4,007	4,305	3,960	アクシデント	27	28	24	29	18	合計	3,371	3,923	4,031	4,334	3,978	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	「採血の注意事項」 「コンフリクトマネジメント」 「心理的安全性と医療安全文化」	1,081	91.2	「予期せぬ急変を防ぐ RRS の概念と実際」 「重大事故発生時の対処法」 「RRS でコードブルーを防げ！」	1,069	91.1			
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																	
インシデント	3,344	3,895	4,007	4,305	3,960																																	
アクシデント	27	28	24	29	18																																	
合計	3,371	3,923	4,031	4,334	3,978																																	
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																				
「採血の注意事項」 「コンフリクトマネジメント」 「心理的安全性と医療安全文化」	1,081	91.2																																				
「予期せぬ急変を防ぐ RRS の概念と実際」 「重大事故発生時の対処法」 「RRS でコードブルーを防げ！」	1,069	91.1																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由										
		<p>チン接種を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AST/ICT 通信を隔月で発行した。また、感染対策講演会をeラーニングで年2回開催し、参加率はいずれも90%以上となり、職員の感染対策に対する意識の向上が図られた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策として、定期的なラウンドとともに、メールや掲示板を活用し、情報発信を行った。また適宜マニュアルの変更を行い、職員へ周知した。</li> </ul> <p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・抗菌薬を大事に使おう！ AMRに立ち向かうために① ・アウトブレイクを防ごう！ 秋冬編①インフルエンザ(10月)</td> <td>1,067</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>・抗菌薬を退治に使おう！ AMRに立ち向かうために② ・こんなときどうする？ 確定前から始める感染対策シミュレーション②麻疹(2月)</td> <td>1,110</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	・抗菌薬を大事に使おう！ AMRに立ち向かうために① ・アウトブレイクを防ごう！ 秋冬編①インフルエンザ(10月)	1,067	90	・抗菌薬を退治に使おう！ AMRに立ち向かうために② ・こんなときどうする？ 確定前から始める感染対策シミュレーション②麻疹(2月)	1,110	94				
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）													
・抗菌薬を大事に使おう！ AMRに立ち向かうために① ・アウトブレイクを防ごう！ 秋冬編①インフルエンザ(10月)	1,067	90													
・抗菌薬を退治に使おう！ AMRに立ち向かうために② ・こんなときどうする？ 確定前から始める感染対策シミュレーション②麻疹(2月)	1,110	94													
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンド</p>	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者サポートカンファレンスにおいて、127件の症例を検討した。介入が必要なケースについては個別に解決策を検討し、必要に応じて本人や医療安全部、各診療科の部長等に介入を依頼した。</li> <li>よろず相談の対応件数は620件で、昨年度比72.5%の減となった。また、かかりつけ医へ紹介は445件で、昨年度比45.2%減となった。いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大により相談件数が減ったと推測される。</li> <li>東濃情報交換会を年3回、東濃地域の病院施設等に勤務する職員が参加して開催し、情報交換を行った。</li> <li>がんサロンの利用回数は昨年度の倍となる79件であった。9月から担当者を1名から2名に増員し、週4日開いたことで利用回数が増えたと推測される。</li> <li>ピアサポーターのフォロー研修を2月に実施し、6名が参加した。お互いの近況報告やオンラインの相談対応について学んでいた。</li> </ul>	<p>1 待ち時間の改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よろず相談、かかりつけ医紹介センターの利用を促進した結果、主治医からの依頼には速やかに対応でき、利用者からの苦情もなかった。</li> <li>地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を行い、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。</li> <li>各診療科や部門について、PR用パンフレットを作成し、近隣の医療機関へ配布した。</li> <li>たじみのネット活用促進のため、訪問活動を実施した。</li> </ul> <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>19.8</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p>	H30	R1	R2	R3	R4	21	12	—	19.8	23	III	病院運営の情報発信について、積極的な発信を評価したが、患者満足度が昨年から後退しており、平年並みと評価。
H30	R1	R2	R3	R4											
21	12	—	19.8	23											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																										
	オピニオンの推進  6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映	<p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>517</td> <td>509</td> <td>414</td> <td>445</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,804</td> <td>2,214</td> <td>2,432</td> <td>2,256</td> <td>620</td> </tr> </tbody> </table> <p>※よろず相談の業務内容を明確化したことに伴い、R4から件数減となった。</p> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> <td>26,203</td> <td>27,571</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン(ほっとサロン)相談件数</td> <td>228</td> <td>192</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治療に関する情報やリスク等について、患者が理解し治療方針等を選択できるように説明書や同意書の整備を行った。また、高難度、当院新規、保険適応外医療技術、高度管理医療機器の導入について説明を行った。</li> <li>がん患者へのセカンドオピニオンについて、ホームページ等でPRを行った結果、当院から他院への紹介は84件、他院から当院への紹介は1件であった。</li> </ul> <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>68</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>52</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院ホームページを、利用者の利便性やデザイン性を考慮しつつ、</li> </ul>	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	かかりつけ医への紹介	517	509	414	445	244	よろず相談	1,804	2,214	2,432	2,256	620	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医療相談件数	17,605	20,450	21,347	26,203	27,571	がん患者サロン(ほっとサロン)相談件数	228	192	39	39	79	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	請求件数	48	34	28	32	29	開示件数	48	34	28	32	29	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	外来受入	7	7	4	4	3	他院紹介	68	51	38	52	95	<p>【CT、MRI検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>34,511</td> <td>33,727</td> <td>31,307</td> <td>32,682</td> <td>30,348</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>10,766</td> <td>10,759</td> <td>9,677</td> <td>10,366</td> <td>10,167</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,799</td> <td>4,857</td> <td>4,185</td> <td>4,509</td> <td>4,612</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,858</td> <td>2,912</td> <td>2,907</td> <td>3,207</td> <td>3,228</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,657</td> <td>7,769</td> <td>7,092</td> <td>7,716</td> <td>7,840</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中西病棟スタッフステーション付近の廊下のLED化を行い、省エネ化を推進した。</li> <li>劣化した椅子の交換等、患者からの施設に係る意見、要望に可能な限り対応した。</li> <li>患者給食の質の向上を目指し、毎食の残食調査、年6回嗜好調査で患者の満足度を調査。医師・管理栄養士及び栄養管理委員会委員による検査結果と併せて給食委託会社と協議し、献立や食材の見直しをした。</li> <li>喫食量の低下した患者や低栄養の患者に介入し、食事量増加、低栄養改善を図った。</li> <li>特別食、がん、低栄養、嚥下食患者には栄養指導を行い栄養管理を行った。</li> </ul> <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>4,173</td> <td>4,585</td> <td>5,317</td> <td>5,262</td> <td>5,042</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>3,009</td> <td>5,700</td> <td>7,439</td> <td>8,691</td> <td>8,720</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>488</td> <td>555</td> <td>696</td> <td>1,240</td> <td>1,139</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者サポートカンファレンスにおいて、127件の症例を検討した。</li> <li>10月に開催した市民講座で、がん相談支援センターやがんサロンなど、がん治療や支援についてパンフレット等で案内した。</li> <li>患者満足度調査(外来の回収率46.5%、病棟の回収率27.0%)を実施したところ、外来部門は「総合評価点」が向上し、「受診満足度」が低下した。入院部門は「総合評価点」、「入院満足度」とともに低下した。</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	CT件数	34,511	33,727	31,307	32,682	30,348	MRI件数	10,766	10,759	9,677	10,366	10,167	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	手術室	4,799	4,857	4,185	4,509	4,612	中放内視鏡	2,858	2,912	2,907	3,207	3,228	合計	7,657	7,769	7,092	7,716	7,840	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	栄養指導	4,173	4,585	5,317	5,262	5,042	栄養管理	3,009	5,700	7,439	8,691	8,720	NST介入	488	555	696	1,240	1,139		
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
かかりつけ医への紹介	517	509	414	445	244																																																																																																																																										
よろず相談	1,804	2,214	2,432	2,256	620																																																																																																																																										
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
医療相談件数	17,605	20,450	21,347	26,203	27,571																																																																																																																																										
がん患者サロン(ほっとサロン)相談件数	228	192	39	39	79																																																																																																																																										
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
請求件数	48	34	28	32	29																																																																																																																																										
開示件数	48	34	28	32	29																																																																																																																																										
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
外来受入	7	7	4	4	3																																																																																																																																										
他院紹介	68	51	38	52	95																																																																																																																																										
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
CT件数	34,511	33,727	31,307	32,682	30,348																																																																																																																																										
MRI件数	10,766	10,759	9,677	10,366	10,167																																																																																																																																										
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
手術室	4,799	4,857	4,185	4,509	4,612																																																																																																																																										
中放内視鏡	2,858	2,912	2,907	3,207	3,228																																																																																																																																										
合計	7,657	7,769	7,092	7,716	7,840																																																																																																																																										
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																										
栄養指導	4,173	4,585	5,317	5,262	5,042																																																																																																																																										
栄養管理	3,009	5,700	7,439	8,691	8,720																																																																																																																																										
NST介入	488	555	696	1,240	1,139																																																																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																						
		<p>アクセシビリティにも配慮しながら、1月に運用を開始し、さらなる改善を図った。その結果、アクセス解析により以前と比較してアクセス者の滞留時間が増えたことが確認でき、リニューアル効果がうかがえた。また、看護部のページをリニューアルし、実際に働く看護師の声や、看護師同士の対談を掲載するなど、当院における看護師の仕事や取り組みについて、内容をより充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院広報誌「けんびょういん」を8月及び2月に発行し、地域のクリニックや院内各所へ配置した。配置場所を大幅に増やし、病棟の患者にも手軽に手に取っていただけるよう、病棟の食堂にも配置した。また、患者が待機する場所に集中的に配置し、適宜補充を行った。</li> <li>岐阜県立多治見病院運営協議会を3月に開催し、当院の運営に関し地域住民等の代表との意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診察待ち時間が-3.1ポイント低下した。医師の言葉遣いや態度は+0.1ポイントとやや改善した。施設の老朽化により、建物の外観やつくりは、-7.4ポイントとなった。</li> </ul> <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">満足度</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>96.4</td> <td>97.3</td> <td>95.3</td> <td>95.9</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院(平均値)</td> <td>89.3</td> <td>88.7</td> <td>81.9</td> <td>91.3</td> <td>88.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.9</td> <td>82.7</td> <td>85.0</td> <td>85.3</td> <td>81.6</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院(平均値)</td> <td>82.5</td> <td>81.5</td> <td>89.5</td> <td>83.7</td> <td>81.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ Q Iプロジェクトデータを全て引用</p>			満足度					H30	R1	R2	R3	R4	入院	当院	96.4	97.3	95.3	95.9	94.6	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	89.3	88.7	81.9	91.3	88.5	外来	当院	87.9	82.7	85.0	85.3	81.6	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	82.5	81.5	89.5	83.7	81.7																		
		満足度																																																									
		H30	R1	R2	R3	R4																																																					
入院	当院	96.4	97.3	95.3	95.9	94.6																																																					
	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	89.3	88.7	81.9	91.3	88.5																																																					
外来	当院	87.9	82.7	85.0	85.3	81.6																																																					
	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	82.5	81.5	89.5	83.7	81.7																																																					
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退院支援が必要な患者に対し、入院後3日以内のスクリーニングと7日以内のカンファレンス等を実施し、63.3%の介入率となった。</li> <li>医療連携推進協議会(7月、9月、12月、3月)、地域連携パス合同会議(6月、12月、3月)、循環器病診連携の会(9月、10月、12月、3月)を実施した。</li> </ul> <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,247</td> <td>1,427</td> <td>1,212</td> <td>1,399</td> <td>1,539</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>870</td> <td>995</td> <td>752</td> <td>785</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,922</td> <td>2,047</td> <td>1,936</td> <td>1,963</td> <td>2,065</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11,115</td> <td>11,743</td> <td>10,076</td> <td>10,653</td> <td>10,793</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,154</td> <td>16,212</td> <td>13,976</td> <td>14,800</td> <td>15,215</td> </tr> </tbody> </table> <p>【訪問活動・健康づくり講座】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動(件)</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>48</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>健康づくり講座(回)</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	整形外科	1,247	1,427	1,212	1,399	1,539	神経内科	870	995	752	785	818	消化器内科	1,922	2,047	1,936	1,963	2,065	その他	11,115	11,743	10,076	10,653	10,793	合計	15,154	16,212	13,976	14,800	15,215	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	訪問活動(件)	20	34	48	15	10	健康づくり講座(回)	21	17	3	0	10		IV	連携予約の状況の件数増加、健康づくり講座の開催実績を評価。
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																						
整形外科	1,247	1,427	1,212	1,399	1,539																																																						
神経内科	870	995	752	785	818																																																						
消化器内科	1,922	2,047	1,936	1,963	2,065																																																						
その他	11,115	11,743	10,076	10,653	10,793																																																						
合計	15,154	16,212	13,976	14,800	15,215																																																						
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																						
訪問活動(件)	20	34	48	15	10																																																						
健康づくり講座(回)	21	17	3	0	10																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																		
		<p>【医療連携交流会】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>中止</td> <td>開催自粛</td> <td>開催自粛</td> <td>開催自粛</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員として医師事務作業補助者3名、看護助手17名、看護助手(派遣)4名、介護福祉士4名、救急救命士3名を採用した。</li> <li>定年再雇用者は9名を採用した。</li> </ul>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	院外参加者数	中止	開催自粛	開催自粛	開催自粛	院内参加者数					合計																																																																																					
区分\年度	R1	R2	R3	R4																																																																																																			
院外参加者数	中止	開催自粛	開催自粛	開催自粛																																																																																																			
院内参加者数																																																																																																							
合計																																																																																																							
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <p>2 地域連携クリニカルパス</p> <p>3 疾病予防の推進</p> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携センター(前方連携・後方連携)による開業医への訪問活動を行い、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。</li> <li>各診療科や部門について、PR用パンフレットを作成し、近隣の医療機関へ配布した。</li> <li>たじみのネット活用促進のため、訪問活動を実施した。</li> <li>多治見シャトル(かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み)については、新型コロナウイルス感染拡大のなかにも利用件数は増加しており、患者紹介率、逆紹介率としても高い水準を維持することができた。</li> </ul> <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,043</td> <td>2,840</td> <td>2,834</td> <td>3,273</td> <td>3,321</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.0</td> <td>78.4</td> <td>82.0</td> <td>80.7</td> <td>79.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(単位：%)</td> <td>75.1</td> <td>73.4</td> <td>74.3</td> <td>72.8</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>22,632</td> <td>20,677</td> <td>17,048</td> <td>18,345</td> <td>19,250</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	R2	R3	R4	2,043	2,840	2,834	3,273	3,321	H30	R1	R2	R3	R4	67.0	78.4	82.0	80.7	79.0	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	紹介率(単位：%)	75.1	73.4	74.3	72.8	73.3	紹介実件数	22,632	20,677	17,048	18,345	19,250	<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携クリニカルパス(大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病)の運用促進のため、医療連携推進協議会(4回)を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。</li> </ul> <p>【地域連携パス運用実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>101</td> <td>129</td> <td>93</td> <td>87</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>267</td> <td>238</td> <td>251</td> <td>220</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>409</td> <td>388</td> <td>374</td> <td>322</td> <td>337</td> </tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td> <td>171</td> <td>204</td> <td>222</td> <td>202</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>371</td> <td>372</td> <td>229</td> <td>174</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週1回、医療相談課でミーティング開催し、DPCⅡ超え以上の患者の状況報告や退院が長期になった患者について行政との情報共有をはかった。</li> <li>入院時、退院時にケアマネージャー等を交えたカンファレンスを開催</li> </ul>	パス名\年度	H30	R1	R2	R3	R4	大腿骨頸部骨折	101	129	93	87	115	脳卒中	267	238	251	220	206	5大がん	16	6	19	13	15	狭心症・心筋梗塞	25	15	11	2	1	糖尿病	0	0	0	0	0	合計	409	388	374	322	337	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	退院時共同指導実績	171	204	222	202	194	介護支援連携指導	371	372	229	174	171	IV	開業医等への積極的な訪問による近隣の医療機関との連携強化、逆紹介率の向上を評価。
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																			
2,043	2,840	2,834	3,273	3,321																																																																																																			
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																			
67.0	78.4	82.0	80.7	79.0																																																																																																			
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																		
紹介率(単位：%)	75.1	73.4	74.3	72.8	73.3																																																																																																		
紹介実件数	22,632	20,677	17,048	18,345	19,250																																																																																																		
パス名\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																		
大腿骨頸部骨折	101	129	93	87	115																																																																																																		
脳卒中	267	238	251	220	206																																																																																																		
5大がん	16	6	19	13	15																																																																																																		
狭心症・心筋梗塞	25	15	11	2	1																																																																																																		
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																																		
合計	409	388	374	322	337																																																																																																		
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																		
退院時共同指導実績	171	204	222	202	194																																																																																																		
介護支援連携指導	371	372	229	174	171																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>(単位:件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位:%)</td> <td>89.2</td> <td>101.2</td> <td>98.6</td> <td>97.4</td> <td>100.5</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数 (単位:件)</td> <td>18,246</td> <td>19,996</td> <td>16,590</td> <td>17,638</td> <td>18,149</td> </tr> </table> <p><b>【高度医療機器利用状況】</b> 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td> <td>892</td> <td>1,031</td> <td>856</td> <td>907</td> <td>867</td> </tr> <tr> <td>M R I</td> <td>612</td> <td>607</td> <td>601</td> <td>608</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>130</td> <td>158</td> <td>194</td> <td>197</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>61</td> <td>47</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>76</td> <td>85</td> <td>79</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,749</td> <td>1,931</td> <td>1,791</td> <td>1,858</td> <td>1,857</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【開放型病床利用】</b> 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>26</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 疾病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を対象とした健康づくり講座について、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により開催を中止したが、今年度は10回開催した。また、病院広報誌「けんびょういん」を8月及び2月に発行し、地域のクリニックや院内各所へ配置することにより、医療や健康に対する知識や関心を高めることに寄与した。</li> </ul>	(単位:件)						逆紹介率 (単位:%)	89.2	101.2	98.6	97.4	100.5	逆紹介実件数 (単位:件)	18,246	19,996	16,590	17,638	18,149	機器名\年度	H30	R1	R2	R3	R4	C T	892	1,031	856	907	867	M R I	612	607	601	608	620	R I	130	158	194	197	197	P E T	39	50	61	47	74	骨密度	76	85	79	99	99	合 計	1,749	1,931	1,791	1,858	1,857	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医科	26	11	1	11	9	歯科	24	29	20	35	44	<p>し、患者に関する情報を共有することで患者が円滑に退院できるよう取り組んだ。</p> <p><b>【在宅復帰率】</b> 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.1</td> <td>91.0</td> <td>91.6</td> <td>92.2</td> <td>90.7</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【相談対応件数】</b> 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> <td>26,454</td> <td>27,571</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【合同カンファレンスの実績】</b> 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>386</td> <td>465</td> <td>450</td> <td>377</td> <td>371</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	R2	R3	R4	92.1	91.0	91.6	92.2	90.7	H30	R1	R2	R3	R4	17,605	20,450	21,347	26,454	27,571	H30	R1	R2	R3	R4	386	465	450	377	371		
(単位:件)																																																																																																																	
逆紹介率 (単位:%)	89.2	101.2	98.6	97.4	100.5																																																																																																												
逆紹介実件数 (単位:件)	18,246	19,996	16,590	17,638	18,149																																																																																																												
機器名\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																												
C T	892	1,031	856	907	867																																																																																																												
M R I	612	607	601	608	620																																																																																																												
R I	130	158	194	197	197																																																																																																												
P E T	39	50	61	47	74																																																																																																												
骨密度	76	85	79	99	99																																																																																																												
合 計	1,749	1,931	1,791	1,858	1,857																																																																																																												
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																												
医科	26	11	1	11	9																																																																																																												
歯科	24	29	20	35	44																																																																																																												
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																													
92.1	91.0	91.6	92.2	90.7																																																																																																													
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																													
17,605	20,450	21,347	26,454	27,571																																																																																																													
H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																													
386	465	450	377	371																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																													
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実	1 救急医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>救急外来の処置ベッドが不足しているため、各部署と調整をとりながら患者受入を可能とする体制を整え、明確な案内表示を実施した。</li> <li>RRS（院内迅速対応システム）構築のため、バイタルモニタの波形を回診時にも閲覧可能なモバイルタブレットを、電子カルテカートとともに整備した。</li> </ul> <p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,440</td> <td>49.3</td> <td>1,526</td> <td>52.3</td> <td>1,554</td> <td>53.2</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>907</td> <td>82.8</td> <td>864</td> <td>78.9</td> <td>840</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,688</td> <td>51.4</td> <td>1,688</td> <td>48.2</td> <td>1,481</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,035</td> <td>55.3</td> <td>3,975</td> <td>54.5</td> <td>3,875</td> <td>53.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,567</td> <td>53.7</td> <td>1,531</td> <td>53.9</td> <td>1,722</td> <td>59.0</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>768</td> <td>70.1</td> <td>745</td> <td>68.8</td> <td>747</td> <td>68.2</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,032</td> <td>31.4</td> <td>957</td> <td>29.4</td> <td>1,000</td> <td>30.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,367</td> <td>46.1</td> <td>3,233</td> <td>45.1</td> <td>3,469</td> <td>47.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車両受入台数】 単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>5,082</td> <td>5,136</td> <td>4,110</td> <td>4,554</td> <td>4,469</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>13.9</td> <td>14.0</td> <td>11.3</td> <td>12.5</td> <td>12.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【心臓血管手術症例数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>54</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>84</td> <td>82</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>204</td> <td>143</td> <td>132</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H29		H30		R1		項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,440	49.3	1,526	52.3	1,554	53.2	CCU	907	82.8	864	78.9	840	76.7	HCU	1,688	51.4	1,688	48.2	1,481	45.1	合計	4,035	55.3	3,975	54.5	3,875	53.1	年度	R2		R3		R4		項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,567	53.7	1,531	53.9	1,722	59.0	CCU	768	70.1	745	68.8	747	68.2	HCU	1,032	31.4	957	29.4	1,000	30.4	合計	3,367	46.1	3,233	45.1	3,469	47.5	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	受入台数	5,082	5,136	4,110	4,554	4,469	一日平均台数	13.9	14.0	11.3	12.5	12.2	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	虚血性心疾患	42	35	28	22	17	弁膜症	37	42	36	20	27	大動脈	45	45	39	54	40	その他	84	82	40	36	76	合計	208	204	143	132	160	2 周産期医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>染色体異常の子どもを持つ母親、高齢妊娠の妊婦に対し、胎児の染色体異常の早期発見を目的とし、染色体検査（非侵襲的出産前遺伝学的検査）を実施した。</li> </ul> <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数（単位：件）</td> <td>541</td> <td>524</td> <td>462</td> <td>539</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>新生児数（単位：人）</td> <td>577</td> <td>547</td> <td>516</td> <td>535</td> <td>566</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年間入院者数</td> <td>NICU（単位：人）</td> <td>204</td> <td>185</td> <td>185</td> <td>195</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>GCU（単位：人）</td> <td>426</td> <td>370</td> <td>370</td> <td>246</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>産科（単位：人）</td> <td>663</td> <td>638</td> <td>638</td> <td>604</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数（単位：件）</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>86</td> <td>73</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数（単位：件）</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>48</td> <td>93</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> 4 精神科医療・感染症医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、感染・結核病棟にて患者の受け入れを行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大により東濃精神科医療連絡会議の開催を見送った。</li> <li>精神科病院を中心とした医療機関や訪問看護ステーション等への訪問については、新型コロナウイルス感染症拡大により、岐阜県総合医療センターのみの訪問となった。</li> </ul> <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>1,603</td> <td>1,365</td> <td>2,197</td> <td>2,976</td> <td>2,763</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>4,842</td> <td>5,421</td> <td>3,761</td> <td>3,898</td> <td>3,057</td> </tr> </tbody> </table> 5 緩和ケア <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の在宅医療機関との連携強化を目的とした事例検討会を月 2～3 回開催した。また、岐阜県東部地域緩和ケア研究会、岐阜県緩和医療専門部会、尾張美濃緩和会議等にもオンラインで参加し、情報交換を行った。</li> <li>緩和ケアチームによる介入件数は延べ 191 件であった。多職種間での検討を通じ、症状緩和等の検討を継続し、関係者への助言や提案を行った。</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	分娩件数（単位：件）	541	524	462	539	529	新生児数（単位：人）	577	547	516	535	566	年間入院者数	NICU（単位：人）	204	185	185	195	183	GCU（単位：人）	426	370	370	246	212	産科（単位：人）	663	638	638	604	573	母胎搬送件数（単位：件）	76	66	86	73	63	新生児搬送件数（単位：件）	76	68	48	93	40	病床\年度	H30	R1	R2	R3	R4	結核、感染症	1,603	1,365	2,197	2,976	2,763	精神科	4,842	5,421	3,761	3,898	3,057	III	重点医療の提供について、概ね平年並みの実績と評価。
年度	H29		H30		R1																																																																																																																																																																																																													
項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																																																																																																												
ICU	1,440	49.3	1,526	52.3	1,554	53.2																																																																																																																																																																																																												
CCU	907	82.8	864	78.9	840	76.7																																																																																																																																																																																																												
HCU	1,688	51.4	1,688	48.2	1,481	45.1																																																																																																																																																																																																												
合計	4,035	55.3	3,975	54.5	3,875	53.1																																																																																																																																																																																																												
年度	R2		R3		R4																																																																																																																																																																																																													
項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																																																																																																												
ICU	1,567	53.7	1,531	53.9	1,722	59.0																																																																																																																																																																																																												
CCU	768	70.1	745	68.8	747	68.2																																																																																																																																																																																																												
HCU	1,032	31.4	957	29.4	1,000	30.4																																																																																																																																																																																																												
合計	3,367	46.1	3,233	45.1	3,469	47.5																																																																																																																																																																																																												
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																																																													
受入台数	5,082	5,136	4,110	4,554	4,469																																																																																																																																																																																																													
一日平均台数	13.9	14.0	11.3	12.5	12.2																																																																																																																																																																																																													
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																																																													
虚血性心疾患	42	35	28	22	17																																																																																																																																																																																																													
弁膜症	37	42	36	20	27																																																																																																																																																																																																													
大動脈	45	45	39	54	40																																																																																																																																																																																																													
その他	84	82	40	36	76																																																																																																																																																																																																													
合計	208	204	143	132	160																																																																																																																																																																																																													
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																																																													
分娩件数（単位：件）	541	524	462	539	529																																																																																																																																																																																																													
新生児数（単位：人）	577	547	516	535	566																																																																																																																																																																																																													
年間入院者数	NICU（単位：人）	204	185	185	195	183																																																																																																																																																																																																												
	GCU（単位：人）	426	370	370	246	212																																																																																																																																																																																																												
	産科（単位：人）	663	638	638	604	573																																																																																																																																																																																																												
母胎搬送件数（単位：件）	76	66	86	73	63																																																																																																																																																																																																													
新生児搬送件数（単位：件）	76	68	48	93	40																																																																																																																																																																																																													
病床\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																																																													
結核、感染症	1,603	1,365	2,197	2,976	2,763																																																																																																																																																																																																													
精神科	4,842	5,421	3,761	3,898	3,057																																																																																																																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																				
		<p><b>【手術・検査件数】</b> 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>1,069</td> <td>893</td> <td>828</td> <td>838</td> <td>762</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>361</td> <td>357</td> <td>351</td> <td>436</td> <td>397</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p><b>【循環器系】</b> 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>195</td> <td>64</td> <td>222</td> <td>194</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>38</td> <td>84</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p><b>【狭心症・心筋梗塞/パス運用実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用 (単位：件)</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>登録医師数 (単位：人)</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高精度放射線治療装置(ノバルスTx)と新放射線治療装置(トゥルービーム)の2台体制により IMRT など質の高い治療を全治療患者の6割に提供できた。</li> <li>がん登録数は2,597件で、前年度より807件増加した。医療相談におけるがん相談件数は1,441件で、317件減少した。</li> <li>ゲノム医療の検討数は51件で、前年度より19件増加した。特に消火器内科、消化器外科、泌尿器科の症例検討数が増加した。</li> <li>がん治療と就労の両立支援について、社会保険労務士やハローワークと連携して支援した相談件数は110件で、そのうち20人が就労見込みとなった。昨年度より就労見込み数が15人増加し、就労に寄与することができた。</li> <li>肝がん、重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関として、対象患者をピックアップし関係部署に情報提供を行った。</li> </ul> <p><b>【がん患者等の状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数 (単位：人)</td> <td>3,060</td> <td>2,858</td> <td>2,808</td> <td>2,671</td> <td>2,889</td> </tr> <tr> <td>外来患者数 (単位：人)</td> <td>1,848</td> <td>1,818</td> <td>1,923</td> <td>2,162</td> <td>2,221</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,066</td> <td>1,036</td> <td>945</td> <td>959</td> <td>983</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年	H30	R1	R2	R3	R4	心カテ	1,069	893	828	838	762	PCI※	361	357	351	436	397	区分\年	H30	R1	R2	R3	R4	アブレーション	195	64	222	194	260	PMI※	71	68	38	84	70	ICD※	18	8	8	16	19	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	パス運用 (単位：件)	25	15	11	2	1	登録医師数 (単位：人)	65	65	63	63	63	項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4	入院患者数 (単位：人)	3,060	2,858	2,808	2,671	2,889	外来患者数 (単位：人)	1,848	1,818	1,923	2,162	2,221	手術件数	1,066	1,036	945	959	983	<p><b>【緩和ケア勉強会等開催状況】</b> 単位：回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【緩和ケアの患者動向】</b> 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,433</td> <td>3,427</td> <td>1,584</td> <td>2,323</td> <td>2,107</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>124</td> <td>155</td> <td>150</td> <td>210</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年12月から令和3年2月まで、新型コロナウイルス感染症対策のため、緩和ケア病棟を一時休止。</p> <p>6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等を対象とした短期入所の運用開始に向けて、院内関係者で現状把握と意見交換を行い、先進病院の事例を参考に当院の運営体制を整えることとした。今後、インターネット、先進病院の視察等により必要な情報を収集し、当院の運用検討を行う。</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	緩和ケア勉強会	6	5	0	0	1	緩和ケア研修会	1	0	1	0	1	緩和ケア講演会	0	0	0	0	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	入院患者数	3,433	3,427	1,584	2,323	2,107	外来患者数	124	155	150	210	205		
区分\年	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
心カテ	1,069	893	828	838	762																																																																																																																																				
PCI※	361	357	351	436	397																																																																																																																																				
区分\年	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
アブレーション	195	64	222	194	260																																																																																																																																				
PMI※	71	68	38	84	70																																																																																																																																				
ICD※	18	8	8	16	19																																																																																																																																				
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
パス運用 (単位：件)	25	15	11	2	1																																																																																																																																				
登録医師数 (単位：人)	65	65	63	63	63																																																																																																																																				
項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
入院患者数 (単位：人)	3,060	2,858	2,808	2,671	2,889																																																																																																																																				
外来患者数 (単位：人)	1,848	1,818	1,923	2,162	2,221																																																																																																																																				
手術件数	1,066	1,036	945	959	983																																																																																																																																				
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
緩和ケア勉強会	6	5	0	0	1																																																																																																																																				
緩和ケア研修会	1	0	1	0	1																																																																																																																																				
緩和ケア講演会	0	0	0	0	0																																																																																																																																				
緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1																																																																																																																																				
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																				
入院患者数	3,433	3,427	1,584	2,323	2,107																																																																																																																																				
外来患者数	124	155	150	210	205																																																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策(●)		自己評価	自己評価理由
		化学療法件数	入院 外来	1,505 12,704	1,760 11,176	1,583 12,528	1,760 11,176	1,663 12,871		
		放射線治療施行回数	入院 外来	2,950 6,481	2,835 5,834	2,621 5,914	2,835 5,834	2,150 5,453		
		【がんパス件数】 単位：件								
		H30	R1	R2	R3	R4				
		16	6	19	13	15				
		【高精度放射線治療システム（ノバリSTx・トゥルービーム）】								
		項目\年度	H30	R1	R2	R3	R4			
		患者数（単位：人）	471	462	446	441	435			
		強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	295	337	392	305	296			
		延べ件数（単位：件）	9,413	9,714	9,040	8,911	7,940			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。</li> </ul> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。</li> </ul> <p>【臨床研究及び治験件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	治験実施件数	3	0	0	0	0	臨床共同研究件数	30	13	12	8	7	III	継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																		
治験実施件数	3	0	0	0	0																		
臨床共同研究件数	30	13	12	8	7																		
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療に関する情報を分析・集計し、一元的に管理することで、各診療科医師や各部門からの要望に応じ、必要な医療情報を提供した。</li> <li>診療報酬改定による看護必要度項目の変更に対応し、施設基準の新規・変更を漏れなく行い新規届出ができるよう関係部門との連携を図った。</li> <li>稼働額や患者集計等の数値を提供し、管理会議や診療報酬委員会等で周知した。</li> <li>分析ツールを活用し、指導管理料等の実績把握やベンチマークでの他院比較データを関係部署へ提供し、件数増加の取組みに活用した。</li> <li>地域医療連携推進協議会（年4回）等を通じ、医師会をはじめとする医療関係機関、行政機関と情報を共有した。</li> </ul>	III	Q I 事業等の継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																														
			<p><b>【看護必要度】</b> 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H30 ※</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>37.8</td> <td>31.2</td> <td>33.7</td> <td>33.8</td> <td>32.8</td> </tr> <tr> <td>7対1施設基準</td> <td>30.0</td> <td>25.0</td> <td>29.0</td> <td>29.0</td> <td>28.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度の改定時に評価項目の大幅な変更あり(値も大きく変動)</p> <p><b>【診療密度】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\改定年度</th> <th>H28</th> <th>H30</th> <th>R2</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>2416.98</td> <td>2386.25</td> <td>2674.42</td> <td>2759.87</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ群基準値</td> <td>2513.24</td> <td>2413.38</td> <td>2476.99</td> <td>2544.49</td> </tr> <tr> <td>対基準値(%)</td> <td>96.17</td> <td>98.88</td> <td>107.8</td> <td>108.5</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【DPC係数】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年月</th> <th>H30.4 ※</th> <th>H31.4</th> <th>R2.4 ※</th> <th>R3.4</th> <th>R4.4 ※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎係数</td> <td>1.0314</td> <td>1.0314</td> <td>1.0708</td> <td>1.0680</td> <td>1.0708</td> </tr> <tr> <td>暫定調整係数</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数Ⅱ</td> <td>0.1295</td> <td>0.1275</td> <td>0.1005</td> <td>0.1140</td> <td>0.1005</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改定年</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本病院会Q I 事業や京都大学Q I P 事業に引き続き参加してデータを提出し、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、医療の質の向上に活用した。</li> <li>病院ホームページのクリニカルインディケータの2021年分を追加した。また、厚生労働省指定項目目標を病院ホームページに公開し、それに対するDPC係数を確保した。</li> <li>DPCデータや各種情報システム(MIL・EVE・メディカルコード)を活用し、診療報酬委員会においてデータ分析や分析結果の検討を行い、関係診療科や関係部門と収益増加に努めた。</li> </ul>	項目\年度	H30 ※	R1	R2	R3	R4	当院値	37.8	31.2	33.7	33.8	32.8	7対1施設基準	30.0	25.0	29.0	29.0	28.0	項目\改定年度	H28	H30	R2	R4	当院値	2416.98	2386.25	2674.42	2759.87	Ⅱ群基準値	2513.24	2413.38	2476.99	2544.49	対基準値(%)	96.17	98.88	107.8	108.5	項目\年月	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※	R3.4	R4.4 ※	基礎係数	1.0314	1.0314	1.0708	1.0680	1.0708	暫定調整係数	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	機能評価係数Ⅱ	0.1295	0.1275	0.1005	0.1140	0.1005		
項目\年度	H30 ※	R1	R2	R3	R4																																																														
当院値	37.8	31.2	33.7	33.8	32.8																																																														
7対1施設基準	30.0	25.0	29.0	29.0	28.0																																																														
項目\改定年度	H28	H30	R2	R4																																																															
当院値	2416.98	2386.25	2674.42	2759.87																																																															
Ⅱ群基準値	2513.24	2413.38	2476.99	2544.49																																																															
対基準値(%)	96.17	98.88	107.8	108.5																																																															
項目\年月	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※	R3.4	R4.4 ※																																																														
基礎係数	1.0314	1.0314	1.0708	1.0680	1.0708																																																														
暫定調整係数	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000																																																														
機能評価係数Ⅱ	0.1295	0.1275	0.1005	0.1140	0.1005																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
			<p>【Q I 指標項目数】 単位：個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がん登録件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,661</td> <td>1,978</td> <td>1,453</td> <td>1,790</td> <td>2,597</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	R2	R3	R4	40	40	40	40	36	H30	R1	R2	R3	R4	1,661	1,978	1,453	1,790	2,597		
H30	R1	R2	R3	R4																					
40	40	40	40	36																					
H30	R1	R2	R3	R4																					
1,661	1,978	1,453	1,790	2,597																					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <p>2 専攻医の育成等</p>		<p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修医の資質の向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、名古屋大学等から講師を招聘して総合診療教育カンファレンス（計 9 回）、総合内科診療教育研修（計 11 回）を開催した。</li> <li>内科症例検討会を月 1 回開催し、研修医自ら症例を提示した。</li> <li>研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義（毎月 2 診療科）を開催した（計 24 回開催）。また、上級医（若手先輩医師）を講師とした早朝勉強会を月 1 回開催した（計 12 回開催）。</li> </ul>	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																		
			<p><b>【医師の研修派遣実績人数】</b> 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>510</td> <td>455</td> <td>182</td> <td>309</td> <td>432</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【職員を対象とした外部講師開催実績】</b> 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/14</td> <td>岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会</td> <td>岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代 晃江</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【研修医を対象とした外部講師開催実績】</b> 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講演会等名</th> <th>回数</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療教育カンファレンス</td> <td>9</td> <td>名古屋大学 近藤 猛</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>総合内科診療教育研修</td> <td>11</td> <td>AOI 名古屋病院 三島 信彦</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【初期臨床研修医数】</b> 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 専攻医に対する育成等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内科領域、外科領域及び精神科領域の専門研修プログラムの基幹施設として、内科医師 6 名、外科医師 1 名を当院プログラムに採用した。</li> <li>内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を 8 月と 2 月に実施した。</li> <li>内科専門研修プログラムの基幹施設として、JMECC (日本内科学会認定内科救急・ICLS 講習会) を開催し、当院内科専門研修プログラムの専攻医 1 年目 3 名と内科医師 3 名が受講した。</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	派遣	510	455	182	309	432	開催日	講演会等名	講師	参加者	9/14	岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会	岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代 晃江	10	講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学 近藤 猛	151	総合内科診療教育研修	11	AOI 名古屋病院 三島 信彦	32	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医師	23	23	26	24	24	歯科医師	2	2	2	2	2		
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																		
派遣	510	455	182	309	432																																																		
開催日	講演会等名	講師	参加者																																																				
9/14	岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会	岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代 晃江	10																																																				
講演会等名	回数	講師	参加者																																																				
総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学 近藤 猛	151																																																				
総合内科診療教育研修	11	AOI 名古屋病院 三島 信彦	32																																																				
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																		
医師	23	23	26	24	24																																																		
歯科医師	2	2	2	2	2																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
			<p>【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医師	16	19	20	21	18	歯科医師	1	3	2	2	1																																																												
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																												
医師	16	19	20	21	18																																																																												
歯科医師	1	3	2	2	1																																																																												
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍においても、教育機関からの実習受け入れを継続した。医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、感染対策を講じながら積極的に受け入れ実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。</li> <li>病院説明会を8月に開催し、県内外の看護学生21名が参加した。</li> <li>卒業年次生を対象に、インターンシップを3月に3日間開催し25名の看護学生が実際の看護現場を体験した。</li> </ul> <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>41</td> <td>52</td> <td>18</td> <td>41</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>505</td> <td>481</td> <td>426</td> <td>424</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>69</td> <td>63</td> <td>67</td> <td>73</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>615</td> <td>596</td> <td>511</td> <td>538</td> <td>393</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>108</td> <td>64</td> <td>30</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医学生	41	52	18	41	46	看護学生	505	481	426	424	253	コメディカル	69	63	67	73	94	合計	615	596	511	538	393	H30	R1	R2	R3	R4	108	64	30	65	70	<p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士に対しては、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。</li> </ul> <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>76</td> <td>83</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86</td> <td>98</td> <td>96</td> <td>104</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、看護師養成を支援した。 医師：35人 看護師：27人 コメディカル：11人</li> </ul>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	生涯教育実習	78	82	76	83	82	就業前実習	4	8	7	9	5	気管挿管実習	2	2	6	6	6	薬剤投与実習	2	6	7	6	2	合計	86	98	96	104	95	IV	コロナ禍でありながら積極的に実習受入れした実績を評価。
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																												
医学生	41	52	18	41	46																																																																												
看護学生	505	481	426	424	253																																																																												
コメディカル	69	63	67	73	94																																																																												
合計	615	596	511	538	393																																																																												
H30	R1	R2	R3	R4																																																																													
108	64	30	65	70																																																																													
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																												
生涯教育実習	78	82	76	83	82																																																																												
就業前実習	4	8	7	9	5																																																																												
気管挿管実習	2	2	6	6	6																																																																												
薬剤投与実習	2	6	7	6	2																																																																												
合計	86	98	96	104	95																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、東濃圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第37回岐阜県病院協会医学会を、当院近藤院長を学会長として多治見市のセラミックパークMINOで開催した。県内の医療機関関係者836人の参加があり特別講演3件、共催セミナー2件、演題発表が241件行われ、病院医療の発展と向上に寄与した。</li> <li>医療連携推進協議会を4回(7月、9月、12月、3月)開催した。</li> <li>地域医療連携センター(前方連携・後方連携)による開業医への訪問活動を実施した。</li> <li>高度医療機器の共同利用について継続的にPRし利用を促進した。高度医療機器共同利用件数:1,974件</li> </ul>	<p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険上矢作病院へ週に1度、医師1名を当直業務に派遣した。</li> <li>土岐市立総合病院(地域外来検査センター)へ週に1度、3年目の医師1名を当直業務に派遣した。</li> <li>土岐市立総合病院(循環器内科・消化器内科)へ毎週火曜日と木曜日にそれぞれ医師1名を派遣した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">派遣医療機関</th> <th style="text-align: center;">派遣状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1回(当直業務) 1人(5人で交代)</td> </tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	土岐市立総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>	IV	病院協会医学会を開催するなど地域医療水準の向上に寄与した実績を評価。
派遣医療機関	派遣状況										
国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)										
土岐市立総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
11	※ 社会的な要請への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学、専門学校、看護協会等からの要請に応じ、看護師を講師として派遣した。</li> <li>看護協会からの依頼を受け、「ふれあい看護体験」を7月と8月の2回に分けて開催した。合計31名の高校生が参加し、看護の魅力を感じてもらうことができた。</li> <li>医療系専門学校、大学からの要請に応じ、各部門で実習生を受け入れた。</li> <li>行政機関、医療系専門学校、大学等の要請に応じ、コメディカル等を講師として派遣した。</li> </ul> <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>179</td> <td>201</td> <td>106</td> <td>197</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>46</td> <td>65</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>280</td> <td>295</td> <td>168</td> <td>253</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	医師	179	201	106	197	191	看護師	55	29	40	39	53	コメディカル	46	65	22	17	14	合計	280	295	168	253	258		IV	コロナ禍でありながら積極的に講師派遣や高校生、実習生の受け入れた実績を評価。
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																														
医師	179	201	106	197	191																														
看護師	55	29	40	39	53																														
コメディカル	46	65	22	17	14																														
合計	280	295	168	253	258																														
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止したが、今年度は健康づくり講座を10件開催した。</li> <li>2月に市民公開講座を会場とオンライン配信を同時に行う、ハイブリッド形式で実施し、健康に寄与する内容を発信した。 テーマ：「背骨の骨折と実際」 参加者：99名 WEB参加者：15名</li> </ul> 2 保健医療、健康管理等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>病院広報誌「けんびょういん」を8月及び2月に発行し、地域のクリニックや院内各所へ配置した。また、内容はその時の旬な情報に加え、新中央診療棟の情報も併せて発信した。</li> <li>病院ホームページに新コンテンツ「けんびょういん通信」を設け、院内での取り組みや新中央診療棟についての情報発信を行った。</li> </ul>		IV	昨年実施できなかった公開講座を実施し、ホームページ等で積極的な情報提供を実施した実績を評価。																														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)、災害派遣精神医療チーム(以下「DPAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 また、新中央診療棟の整備に合わせて、防災ヘリが離着陸可能なヘリポートを整備するとともに、水害に備えた施設、設備を整備すること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMAT及びDPATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画(BCP)の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者受け入れ体制を整備するとともに、東濃圏域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由									
13	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>2 災害拠点病院としての機能強化</p>	<p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に院内の被災状況を把握するための情報システムを更新し、現場からの情報入力や本部における情報収集を行うBCP訓練を行った。</li> <li>ヘリポート内で発生した火災を想定した消防訓練を行った。</li> <li>大規模災害時に通信インフラが途切れないよう点検を実施し、光回線の経路冗長化、大容量化の整備を実施した。</li> </ul> <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>3/3</td> <td>災害時院内情報管理システムの新規導入に伴い、その操作習得を目的に、同システムを利用した報告訓練および本部における情報管理訓練を実施した。</td> </tr> <tr> <td>消防訓練</td> <td>8/31</td> <td>火災発生時の患者避難誘導について、避難手順の確認を行うことを目的に、避難</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	備考	災害実働訓練	3/3	災害時院内情報管理システムの新規導入に伴い、その操作習得を目的に、同システムを利用した報告訓練および本部における情報管理訓練を実施した。	消防訓練	8/31	火災発生時の患者避難誘導について、避難手順の確認を行うことを目的に、避難		IV	情報システムの更新や消防訓練など、拠点機能の充実に対する実績を評価。
	開催日	備考												
災害実働訓練	3/3	災害時院内情報管理システムの新規導入に伴い、その操作習得を目的に、同システムを利用した報告訓練および本部における情報管理訓練を実施した。												
消防訓練	8/31	火災発生時の患者避難誘導について、避難手順の確認を行うことを目的に、避難												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況		その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<p>の基本的な考え方の説明会と垂直避難用階段避難車の操作訓練を実施した。</p>			
		3/31	<p>ヘリポート火災における初期消火・避難誘導手順を確認することを目的に、実地での消火・避難誘導訓練を実施した。</p>			
		<p>2 災害拠点病院としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に院内の被災状況を把握するための情報システムを更新した。</li> <li>ガスコージェネレーションシステムについて、新中央診療棟におけるメンテナンスリース契約を締結した。</li> </ul>				
14	<p>※ 他県等の医療救護への協力</p> <p>1 DMA T及びDPATの質の向上と維持</p> <p>2 大規模災害発生時のDMA T及びDPATの派遣</p>			<p>1 DMA T及びDPATの質の向上と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DMA T隊員が大規模地震時医療活動訓練中部ブロック訓練に参加した。</li> <li>DMA Tの新規隊員養成研修へ看護師1名が参加した。</li> <li>DPATの先遣隊に登録し、実地研修に参加した。</li> </ul> <p>2 大規模災害発生時のDMA T及びDPATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣実績はないものの、常時、派遣の体制を維持した。</li> </ul>	Ⅲ	<p>継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。</p>
15	<p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実</p> <p>1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの適正管理</p>	<p>1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に院内の被災状況を把握するための情報システムを更新し、現場からの情報入力や本部における情報収集を行うBCP訓練を行った。</li> </ul> <p>2 診療情報のバックアップシステムの適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔地でバックアップをしている診療情報データについて、サイバー攻撃に備えるため、最新のデータだけでなく、過去のデータも保管する、世代別管理の保管とするよう委託契約を変更した。</li> </ul>			Ⅳ	<p>診療情報の世代別管理を実施した実績を評価。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮  1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備  2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施  3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っており、それに伴うマニュアルの整備やBCPの作成を行い、メールや掲示板で職員へ周知した。</li> <li>コロナ禍において、个人防护具等を中心に90日分の確保を目標に、供給元の見直しや、複数の同等品の導入を行った。</li> </ul> 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策のためのラウンドを実施するとともに、定期的に職員向け情報を発行し、感染防止の意識を高めた。</li> </ul> 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症指定医療機関及び感染向上対策加算算定病院として、近隣の病院やクリニック、保健所と連携し、感染症にかかる情報共有や感染対策の支援を可能とする体制整備ができた。</li> <li>東濃地区の医療機関とのカンファレンスにおいて、新型コロナウイルス感染症にかかる感染対策や治療等について情報交換を行い、東濃地区の施設等からの質問に対応した。</li> </ul>		IV	新型コロナウイルス感染拡大に際し、感染指定医療機関としての各種対応を評価

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 組織体制の充実	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの運用	人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。
	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
17	※ 組織体制の充実  1 組織体制の充実  2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進  3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実	1 組織体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>救急外来及び救急救命センターのマネジメントの充実を図るため、救急集中診療科を新設した。</li> <li>新棟への診療体制の円滑な移行を図るため、新棟建設室に移行準備調整監を配置した。</li> </ul> 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>業務合理化のため、医師のみを対象とした、顔認証による勤怠管理システムを導入し、勤怠管理の合理化に努めた。</li> </ul> 3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>バイタルモニターデータについて、スタッフステーションのセントラルモニターに加え、モバイル端末において波形も閲覧できるよう開発した。</li> <li>職員情報を一元的に管理する職員基本情報管理システムを導入した。</li> </ul>		IV	医師の勤怠管理システムを導入し、勤怠管理の合理化に努めた実績を評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン入力などの定型的な事務の効率化を図るため、医事課の2業務について、パソコンで行っている事務作業を自動化できるRPA(ロボティックプロセスオートメーション)を本格運用することとなった。</li> <li>・経営効率向上に加え、情報セキュリティについて新たに調達するものすべてを配慮できるよう「情報システム委員会」の導入検討を進めた。</li> </ul>			
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用  1 人員配置の検証及び弾力的運用  2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急集中治療科を新設し、救命医を増員した。</li> <li>・新棟への診療体制の円滑な移行を図るため、再雇用の看護副部長を新棟建設室に兼務配置した。</li> </ul> 2 効果的な体制による医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師事務作業補助者3名、看護助手17名、看護助手(派遣)4名、介護福祉士4名、救急救命士3名の人員を確保し、医師等の負担軽減を図った。</li> </ul>	III	人員の配置、採用等については概ね平年並みと評価。
19	※ 人事評価システムの運用  1 人事評価システムの運用		1 人事評価システムの運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。</li> </ul>	III	例年どおりの運用であり、平年並みと評価。
20	※ 事務部門の専門性の向上  1 事務部門職員の確保及び育成		1 事務部門職員の確保及び育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員の募集採用活動を実施した結果、令和5年4月1日付で、2名が中途採用となった。</li> <li>・事務局職員研修体系に基づき、対象者(15名)が、オンライン研修を受講し、各階層に必要とされるスキル及び専門性の向上を図った。</li> <li>・DPCコーディング業務について、引き続き職員で行い、診療内容に最も適したDPCが選択できるよう、適切なコーディングに努めた。</li> </ul>	III	事務部門職員の確保、育成については概ね平年並みと評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由									
21	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底  1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底		1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・ ハラスメント対策として院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行した。 ・ 監事監査や内部統制ヒアリングを毎月実施し、各部門へ確認指導を行うことにより、適正な業務執行の確認体制を維持している。  <b>【コンプライアンス研修開催実績】</b> 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・演題等</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4. 4. 1</td> <td>総務課長 小栗丈彦 『サービスと倫理』</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>R5. 1～2</td> <td>職員相談室 阿部栄治 『36 協定とは』 情報システム課長 金子浩久 『情報セキュリティについて』</td> <td>全職員</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・演題等	参加者	R4. 4. 1	総務課長 小栗丈彦 『サービスと倫理』	34	R5. 1～2	職員相談室 阿部栄治 『36 協定とは』 情報システム課長 金子浩久 『情報セキュリティについて』	全職員	III	継続的な取組が実施できている、平年並みの実績と評価。
開催期間	講師・演題等	参加者												
R4. 4. 1	総務課長 小栗丈彦 『サービスと倫理』	34												
R5. 1～2	職員相談室 阿部栄治 『36 協定とは』 情報システム課長 金子浩久 『情報セキュリティについて』	全職員												
22	※ 適切な情報管理  1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等  2 情報セキュリティに対する意識向上	1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・ サイバー攻撃等に関する情報収集と周知を継続的に実施した。 ・ 被害を受けた病院事例を基に、関連機器のOS とアプリケーションの橋渡しの役割を担う、ミドルウェア等のアップデートを実施したほか、不正接続されにくくするための仕組みを構築した。 ・ 医療機器に関連するコンピューターウイルス侵入対策のため、新たに導入する機器の分析データ運用調整に対し積極的に関与している。 2 情報セキュリティに対する意識向上 ・ 全職員に対して、情報セキュリティについての研修を実施した。(令和5年2月)		IV	サイバー攻撃に対する取組や関連機器のミドルウェア等のアップデートの実施などの実績を評価。									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <p>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</p> <p>※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</p> <p>※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
23	<p>※ 多様な契約手法の導入</p> <p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新中央診療棟のガスコージェネレーションシステム導入について、機器本体の購入に設置後 15 年間の保守点検費用を含めて入札を実施した。また、政府調達案件のため制度に則り一般競争入札を実施した。</li> <li>・ 新棟建設工事に関する施主支給品(外壁タイル・内部タイル)について、一般競争入札により調達契約を締結した。また、同じく施主支給品(木材)については随意契約により調達契約を締結した。</li> <li>・ 新棟移転業務については外部委託とし、業務の品質を確保するため、公募型プロポーザル方式を採用し、委託先業者の選定手続きを行った。</li> <li>・ 高額医療機器についてはプロポーザルや購入後のメンテナンス費用を含めた複数年契約などの多様な契約手法の導入により、整備費用の削減を図る。また、原則 2 機種以上での比較検討及び価格競争を促すとともに、ベンチマークを利用することにより、さらなる整備費用の削減を図った。</li> <li>・ 特定調達契約に係る入札記録を保管した。</li> <li>・ 診療材料共同購入対象物品(汎用品 320 品目、診療科専用品 690 品目)について、委員会を組織し、現場の要望を確認しながら経費節減を図った。</li> </ul>		IV	新中央診療棟関連の契約について、多様な契約手法を導入した実績を評価。
24	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p>		<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四半期ごとに分析ツールを用いた診療科別の原価計算の結果について院内報告した。また、対前年度比比較等を行い、収益と費用の状況を継続的にモニタリングした。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症拡大により診療所等訪問活動チー</li> </ul>	III	未収金の発生防止等継続的に取り組んでいるが、未収金額が増えており、昨年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
	2 未収金の発生防止対策等  3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応		<p>ムによる訪問箇所は 16 カ所の予定が 4 カ所となったが、東濃情報交換会参加や行政等との情報交換を積極的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DPC II 超え以上の患者の状況把握を毎週実施した。また、地域医療連携センター長とともに月 1 回病棟ラウンドを実施し、長期入院の原因を把握し課題解決に取り組んだ。</li> <li>高度医療機器の共同利用促進について、地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施した。</li> </ul> <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">新規入院患者(単位:人)</td> <td>14,498</td> <td>14,781</td> <td>14,654</td> <td>13,123</td> </tr> <tr> <td colspan="2">延入院患者(単位:人)</td> <td>176,770</td> <td>167,723</td> <td>165,889</td> <td>148,961</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td> <td>全体</td> <td>11.2</td> <td>10.4</td> <td>10.3</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.6</td> <td>9.9</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td> <td>全体</td> <td>66,161</td> <td>71,328</td> <td>71,960</td> <td>76,556</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>68,689</td> <td>73,681</td> <td>74,227</td> <td>78,616</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目\年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,966</td> <td>13,159</td> </tr> <tr> <td colspan="2">延入院患者(単位:人)</td> <td>159,465</td> <td>144,878</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td> <td>全体</td> <td>10.4</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.2</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td> <td>全体</td> <td>78,220</td> <td>83,559</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>79,931</td> <td>85,072</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,115</td> <td>1,139</td> <td>1,128</td> <td>1,015</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度		H29	H30	R1	R2	新規入院患者(単位:人)		14,498	14,781	14,654	13,123	延入院患者(単位:人)		176,770	167,723	165,889	148,961	平均在院日数 (単位:日)	全体	11.2	10.4	10.3	10.4	一般	10.6	9.9	9.9	10.1	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	66,161	71,328	71,960	76,556	一般	68,689	73,681	74,227	78,616	項目\年度		R3	R4	新規入院患者(単位:人)		13,966	13,159	延入院患者(単位:人)		159,465	144,878	平均在院日数 (単位:日)	全体	10.4	10.0	一般	10.2	9.8	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	78,220	83,559	一般	79,931	85,072	項目\年度	H29	H30	R1	R2	一日当たり外来患者数	1,115	1,139	1,128	1,015		
項目\年度		H29	H30	R1	R2																																																																												
新規入院患者(単位:人)		14,498	14,781	14,654	13,123																																																																												
延入院患者(単位:人)		176,770	167,723	165,889	148,961																																																																												
平均在院日数 (単位:日)	全体	11.2	10.4	10.3	10.4																																																																												
	一般	10.6	9.9	9.9	10.1																																																																												
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	66,161	71,328	71,960	76,556																																																																												
	一般	68,689	73,681	74,227	78,616																																																																												
項目\年度		R3	R4																																																																														
新規入院患者(単位:人)		13,966	13,159																																																																														
延入院患者(単位:人)		159,465	144,878																																																																														
平均在院日数 (単位:日)	全体	10.4	10.0																																																																														
	一般	10.2	9.8																																																																														
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	78,220	83,559																																																																														
	一般	79,931	85,072																																																																														
項目\年度	H29	H30	R1	R2																																																																													
一日当たり外来患者数	1,115	1,139	1,128	1,015																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)				自己評価	自己評価理由																																																																																									
			<table border="1"> <tr> <td>(単位:人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位:円)</td> <td>17,575</td> <td>18,207</td> <td>19,638</td> <td>21,851</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,068</td> <td>1,086</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位:円)</td> <td>21,346</td> <td>21,602</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療時や入院前に得た情報や相談依頼を受け、制度の適用や申請の方法等について個別に支援を継続した。また、未収金が発生する可能性の高い症例については、行政に連絡し未収金が発生しないよう介入した。</li> <li>令和4年度の未収金額は35,590,000円であり、前年度と比較して13,438,000円増加した。</li> <li>診療費の回収を行うため、担当者2名による催促、督促、分納相談を実施し、事案によっては弁護士に委託した。</li> </ul> <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>315</td> <td>30,815</td> <td>279</td> <td>26,132</td> <td>281</td> <td>21,386</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>487</td> <td>22,584</td> <td>314</td> <td>19,910</td> <td>511</td> <td>22,485</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>802</td> <td>53,399</td> <td>593</td> <td>46,042</td> <td>792</td> <td>43,871</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>317</td> <td>22,013</td> <td>329</td> <td>26,200</td> <td>440</td> <td>30,794</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>518</td> <td>23,564</td> <td>574</td> <td>22,152</td> <td>572</td> <td>35,590</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>835</td> <td>45,577</td> <td>903</td> <td>48,352</td> <td>1,012</td> <td>66,384</td> </tr> </tbody> </table>				(単位:人)						一人当たり外来単価 (単位:円)	17,575	18,207	19,638	21,851		項目\年度	R3	R4	一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,068	1,086	一人当たり外来単価 (単位:円)	21,346	21,602		H29		H30		R1		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	315	30,815	279	26,132	281	21,386	現年分	487	22,584	314	19,910	511	22,485	合計	802	53,399	593	46,042	792	43,871		R2		R3		R4		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	317	22,013	329	26,200	440	30,794	現年分	518	23,564	574	22,152	572	35,590	合計	835	45,577	903	48,352	1,012	66,384		
(単位:人)																																																																																																	
一人当たり外来単価 (単位:円)	17,575	18,207	19,638	21,851																																																																																													
項目\年度	R3	R4																																																																																															
一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,068	1,086																																																																																															
一人当たり外来単価 (単位:円)	21,346	21,602																																																																																															
	H29		H30		R1																																																																																												
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																											
過年分	315	30,815	279	26,132	281	21,386																																																																																											
現年分	487	22,584	314	19,910	511	22,485																																																																																											
合計	802	53,399	593	46,042	792	43,871																																																																																											
	R2		R3		R4																																																																																												
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																											
過年分	317	22,013	329	26,200	440	30,794																																																																																											
現年分	518	23,564	574	22,152	572	35,590																																																																																											
合計	835	45,577	903	48,352	1,012	66,384																																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																												
			<p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部コンサルタントによる客観的な点検を行い、診療報酬委員会毎月フィードバックを行っている。</li> <li>診療報酬改定について院内各部門と連携し、診療報酬の加算や施設基準の変更への対応に遺漏がないよう取り組んだ。</li> </ul>																																																														
25	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <p>2 後発医薬品の使用促進</p>		<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療材料の共同購入により、汎用医療材料分野及び循環器分野を中心に 11 カ月間で約 3,300 万円の削減効果を得た。</li> </ul> <p>【医薬収益に対する材料費比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>16.11</td> <td>17.77</td> <td>18.5</td> <td>18.5</td> <td>20.3</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>11.09</td> <td>10.73</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>材料費全体</td> <td>27.26</td> <td>28.58</td> <td>29.5</td> <td>29.8</td> <td>31.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位：千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,689,702</td> <td>2,812,655</td> <td>3,153,092</td> <td>3,142,369</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,747,406</td> <td>1,935,321</td> <td>1,903,765</td> <td>1,850,991</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>3,410,882</td> <td>3,688,839</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>2,048,555</td> <td>2,092,256</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後発医薬品の使用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度平均で後発医薬品の使用率は 89.79% であり、後発医薬品使用体制加算 1 の要件となる使用率 90% に届かなかった。</li> </ul> <p>【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量ベース</td> <td>88.11</td> <td>91.89</td> <td>89.89</td> <td>90.63</td> <td>89.79</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	薬品費	16.11	17.77	18.5	18.5	20.3	診療材料費	11.09	10.73	10.9	11.1	11.6	材料費全体	27.26	28.58	29.5	29.8	31.9	区分\年度	H29	H30	R1	R2	薬品費	2,689,702	2,812,655	3,153,092	3,142,369	診療材料費	1,747,406	1,935,321	1,903,765	1,850,991	区分\年度	R3	R4	薬品費	3,410,882	3,688,839	診療材料費	2,048,555	2,092,256	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	数量ベース	88.11	91.89	89.89	90.63	89.79	III	<p>医薬品・材料費の節減等、継続的な取組が実施できているが、材料費比率の改善には繋がっておらず、平年並みの実績と評価。</p>
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																												
薬品費	16.11	17.77	18.5	18.5	20.3																																																												
診療材料費	11.09	10.73	10.9	11.1	11.6																																																												
材料費全体	27.26	28.58	29.5	29.8	31.9																																																												
区分\年度	H29	H30	R1	R2																																																													
薬品費	2,689,702	2,812,655	3,153,092	3,142,369																																																													
診療材料費	1,747,406	1,935,321	1,903,765	1,850,991																																																													
区分\年度	R3	R4																																																															
薬品費	3,410,882	3,688,839																																																															
診療材料費	2,048,555	2,092,256																																																															
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																												
数量ベース	88.11	91.89	89.89	90.63	89.79																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値を参考に、適切な目標を定め達成すること。
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下を目指す。		・ 薬品費、診療材料費の増により、経常収支比率96.8%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。  【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>100.2</td> <td>95.5</td> <td>97.1</td> <td>99.5</td> <td>96.8</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>52.5</td> <td>54.4</td> <td>58.0</td> <td>53.0</td> <td>54.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	経常収支	100.2	95.5	97.1	99.5	96.8	職員給与費	52.5	54.4	58.0	53.0	54.2	II	4年連続の赤字を計上した。																																																										
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4																																																																												
経常収支	100.2	95.5	97.1	99.5	96.8																																																																												
職員給与費	52.5	54.4	58.0	53.0	54.2																																																																												
1	1 予算 (単位：百万円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>20,771</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>18,816</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,409</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>546</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>96</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>20</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>76</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>5,667</td></tr> <tr><td>    長期借入金</td><td>5,308</td></tr> <tr><td>    運営費負担金</td><td>343</td></tr> <tr><td>    その他資本収入</td><td>16</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  計</td><td>26,534</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>19,149</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>18,478</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>9,520</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	20,771	医業収益	18,816	運営費負担金収益	1,409	その他営業収益	546	営業外収益	96	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	76	資本収入	5,667	長期借入金	5,308	運営費負担金	343	その他資本収入	16	その他の収入	0	計	26,534	支出		営業費用	19,149	医業費用	18,478	給与費	9,520		1 決算 (単位：百万円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>22,903</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>20,355</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,410</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>1,138</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>102</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>20</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>82</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>3,351</td></tr> <tr><td>    長期借入金</td><td>2,961</td></tr> <tr><td>    運営費負担金</td><td>309</td></tr> <tr><td>    その他資本収入</td><td>81</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>1</td></tr> <tr><td>  計</td><td>26,357</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>19,718</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>19,072</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>9,280</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	22,903	医業収益	20,355	運営費負担金収益	1,410	その他営業収益	1,138	営業外収益	102	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	82	資本収入	3,351	長期借入金	2,961	運営費負担金	309	その他資本収入	81	その他の収入	1	計	26,357	支出		営業費用	19,718	医業費用	19,072	給与費	9,280		
区 分	金 額																																																																																
収入																																																																																	
営業収益	20,771																																																																																
医業収益	18,816																																																																																
運営費負担金収益	1,409																																																																																
その他営業収益	546																																																																																
営業外収益	96																																																																																
運営費負担金収益	20																																																																																
その他営業外収益	76																																																																																
資本収入	5,667																																																																																
長期借入金	5,308																																																																																
運営費負担金	343																																																																																
その他資本収入	16																																																																																
その他の収入	0																																																																																
計	26,534																																																																																
支出																																																																																	
営業費用	19,149																																																																																
医業費用	18,478																																																																																
給与費	9,520																																																																																
区 分	金 額																																																																																
収入																																																																																	
営業収益	22,903																																																																																
医業収益	20,355																																																																																
運営費負担金収益	1,410																																																																																
その他営業収益	1,138																																																																																
営業外収益	102																																																																																
運営費負担金収益	20																																																																																
その他営業外収益	82																																																																																
資本収入	3,351																																																																																
長期借入金	2,961																																																																																
運営費負担金	309																																																																																
その他資本収入	81																																																																																
その他の収入	1																																																																																
計	26,357																																																																																
支出																																																																																	
営業費用	19,718																																																																																
医業費用	19,072																																																																																
給与費	9,280																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目		R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)		自己 評価	自己評価理由																																																																																														
		<table border="1"> <tr><td>材料費</td><td>5,798</td></tr> <tr><td>経費</td><td>3,091</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>69</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>671</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>467</td></tr> <tr><td>経費</td><td>204</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>105</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>6,288</td></tr> <tr><td>建設改良費</td><td>5,812</td></tr> <tr><td>償還金</td><td>460</td></tr> <tr><td>その他資本支出</td><td>16</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>25,542</td></tr> </table>	材料費	5,798	経費	3,091	研究研修費	69	一般管理費	671	給与費	467	経費	204	営業外費用	105	資本支出	6,288	建設改良費	5,812	償還金	460	その他資本支出	16	その他の支出	0	計	25,542			<table border="1"> <tr><td>材料費</td><td>6,363</td></tr> <tr><td>経費</td><td>3,384</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>45</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>646</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>433</td></tr> <tr><td>経費</td><td>213</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>79</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>3,993</td></tr> <tr><td>建設改良費</td><td>3,414</td></tr> <tr><td>償還金</td><td>545</td></tr> <tr><td>その他資本支出</td><td>34</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>23,791</td></tr> </table>	材料費	6,363	経費	3,384	研究研修費	45	一般管理費	646	給与費	433	経費	213	営業外費用	79	資本支出	3,993	建設改良費	3,414	償還金	545	その他資本支出	34	その他の支出	1	計	23,791																																												
材料費	5,798																																																																																																				
経費	3,091																																																																																																				
研究研修費	69																																																																																																				
一般管理費	671																																																																																																				
給与費	467																																																																																																				
経費	204																																																																																																				
営業外費用	105																																																																																																				
資本支出	6,288																																																																																																				
建設改良費	5,812																																																																																																				
償還金	460																																																																																																				
その他資本支出	16																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																				
計	25,542																																																																																																				
材料費	6,363																																																																																																				
経費	3,384																																																																																																				
研究研修費	45																																																																																																				
一般管理費	646																																																																																																				
給与費	433																																																																																																				
経費	213																																																																																																				
営業外費用	79																																																																																																				
資本支出	3,993																																																																																																				
建設改良費	3,414																																																																																																				
償還金	545																																																																																																				
その他資本支出	34																																																																																																				
その他の支出	1																																																																																																				
計	23,791																																																																																																				
	(注記 略)			(注記 略)																																																																																																	
	2 収支計画	(単位:百万円)		2 収支計画に対する実績	(単位:百万円)																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,861</td></tr> <tr><td>営業収益</td><td>20,771</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>18,812</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>1,409</td></tr> <tr><td>  資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>544</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>89</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>20</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>69</td></tr> <tr><td>臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>21,574</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>20,198</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>19,523</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>9,345</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>5,721</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>2,865</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>1,529</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>63</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>675</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>462</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>27</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>186</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>1,376</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	20,861	営業収益	20,771	医業収益	18,812	運営費負担金収益	1,409	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	544	営業外収益	89	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	69	臨時利益	0	費用の部	21,574	営業費用	20,198	医業費用	19,523	給与費	9,345	材料費	5,721	経費	2,865	減価償却費	1,529	研究研修費	63	一般管理費	675	給与費	462	減価償却費	27	経費	186	営業外費用	1,376		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,818</td></tr> <tr><td>営業収益</td><td>20,711</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>18,176</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>1,392</td></tr> <tr><td>  資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>1,137</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>106</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>20</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>86</td></tr> <tr><td>臨時利益</td><td>1</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>21,504</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>20,497</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>19,808</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>9,393</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>5,806</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>3,137</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>1,434</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>38</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>689</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>450</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>41</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>198</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>998</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	20,818	営業収益	20,711	医業収益	18,176	運営費負担金収益	1,392	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	1,137	営業外収益	106	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	86	臨時利益	1	費用の部	21,504	営業費用	20,497	医業費用	19,808	給与費	9,393	材料費	5,806	経費	3,137	減価償却費	1,434	研究研修費	38	一般管理費	689	給与費	450	減価償却費	41	経費	198	営業外費用	998		
区 分	金 額																																																																																																				
収益の部	20,861																																																																																																				
営業収益	20,771																																																																																																				
医業収益	18,812																																																																																																				
運営費負担金収益	1,409																																																																																																				
資産見返負債戻入	6																																																																																																				
その他営業収益	544																																																																																																				
営業外収益	89																																																																																																				
運営費負担金収益	20																																																																																																				
その他営業外収益	69																																																																																																				
臨時利益	0																																																																																																				
費用の部	21,574																																																																																																				
営業費用	20,198																																																																																																				
医業費用	19,523																																																																																																				
給与費	9,345																																																																																																				
材料費	5,721																																																																																																				
経費	2,865																																																																																																				
減価償却費	1,529																																																																																																				
研究研修費	63																																																																																																				
一般管理費	675																																																																																																				
給与費	462																																																																																																				
減価償却費	27																																																																																																				
経費	186																																																																																																				
営業外費用	1,376																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																				
収益の部	20,818																																																																																																				
営業収益	20,711																																																																																																				
医業収益	18,176																																																																																																				
運営費負担金収益	1,392																																																																																																				
資産見返負債戻入	6																																																																																																				
その他営業収益	1,137																																																																																																				
営業外収益	106																																																																																																				
運営費負担金収益	20																																																																																																				
その他営業外収益	86																																																																																																				
臨時利益	1																																																																																																				
費用の部	21,504																																																																																																				
営業費用	20,497																																																																																																				
医業費用	19,808																																																																																																				
給与費	9,393																																																																																																				
材料費	5,806																																																																																																				
経費	3,137																																																																																																				
減価償却費	1,434																																																																																																				
研究研修費	38																																																																																																				
一般管理費	689																																																																																																				
給与費	450																																																																																																				
減価償却費	41																																																																																																				
経費	198																																																																																																				
営業外費用	998																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲713</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲713</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲713	目的積立金取崩額	0	総損失	▲713		<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>9</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲686</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲686</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	9	予備費	0	純損失	▲686	目的積立金取崩額	0	総損失	▲686																																																																																						
臨時損失	0																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲713																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲713																																																																																																												
臨時損失	9																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲686																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲686																																																																																																												
	<p>3 資金計画</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>35,877</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>20,728</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>18,677</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,429</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>622</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>70</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>54</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>16</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>5,597</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>5,308</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>289</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>9,482</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>35,877</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>20,344</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>8,687</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>6,021</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>5,636</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>5,840</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>5,824</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>16</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>460</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>350</td></tr> <tr><td>前地方債償還義務の償還による支出</td><td>90</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>20</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>9,233</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	資金収入	35,877	業務活動による収入	20,728	診療業務による収入	18,677	運営費負担金による収入	1,429	その他の業務活動による収入	622	投資活動による収入	70	運営費負担金による収入	54	その他の投資活動による収入	16	財務活動による収入	5,597	長期借入による収入	5,308	その他の財務活動による収入	289	前事業年度からの繰越金	9,482	資金支出	35,877	業務活動による支出	20,344	給与費支出	8,687	材料費支出	6,021	その他の業務活動による支出	5,636	投資活動による支出	5,840	有形固定資産の取得による支出	5,824	その他の投資活動による支出	16	財務活動による支出	460	長期借入金の返済による支出	350	前地方債償還義務の償還による支出	90	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	9,233		<p>3 資金計画に対する実績</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>34,767</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>20,993</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>18,378</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,392</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>1,223</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>79</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>44</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>35</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>3,247</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>2,961</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>286</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>10,448</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>34,767</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>20,199</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>7,722</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>6,352</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>6,125</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>2,995</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>2,969</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>26</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>545</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>433</td></tr> <tr><td>前地方債償還義務の償還による支出</td><td>92</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>20</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>11,028</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	資金収入	34,767	業務活動による収入	20,993	診療業務による収入	18,378	運営費負担金による収入	1,392	その他の業務活動による収入	1,223	投資活動による収入	79	運営費負担金による収入	44	その他の投資活動による収入	35	財務活動による収入	3,247	長期借入による収入	2,961	その他の財務活動による収入	286	前事業年度からの繰越金	10,448	資金支出	34,767	業務活動による支出	20,199	給与費支出	7,722	材料費支出	6,352	その他の業務活動による支出	6,125	投資活動による支出	2,995	有形固定資産の取得による支出	2,969	その他の投資活動による支出	26	財務活動による支出	545	長期借入金の返済による支出	433	前地方債償還義務の償還による支出	92	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	11,028		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	35,877																																																																																																												
業務活動による収入	20,728																																																																																																												
診療業務による収入	18,677																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,429																																																																																																												
その他の業務活動による収入	622																																																																																																												
投資活動による収入	70																																																																																																												
運営費負担金による収入	54																																																																																																												
その他の投資活動による収入	16																																																																																																												
財務活動による収入	5,597																																																																																																												
長期借入による収入	5,308																																																																																																												
その他の財務活動による収入	289																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	9,482																																																																																																												
資金支出	35,877																																																																																																												
業務活動による支出	20,344																																																																																																												
給与費支出	8,687																																																																																																												
材料費支出	6,021																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,636																																																																																																												
投資活動による支出	5,840																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	5,824																																																																																																												
その他の投資活動による支出	16																																																																																																												
財務活動による支出	460																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	350																																																																																																												
前地方債償還義務の償還による支出	90																																																																																																												
その他財務活動による支出	20																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,233																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	34,767																																																																																																												
業務活動による収入	20,993																																																																																																												
診療業務による収入	18,378																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,392																																																																																																												
その他の業務活動による収入	1,223																																																																																																												
投資活動による収入	79																																																																																																												
運営費負担金による収入	44																																																																																																												
その他の投資活動による収入	35																																																																																																												
財務活動による収入	3,247																																																																																																												
長期借入による収入	2,961																																																																																																												
その他の財務活動による収入	286																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	10,448																																																																																																												
資金支出	34,767																																																																																																												
業務活動による支出	20,199																																																																																																												
給与費支出	7,722																																																																																																												
材料費支出	6,352																																																																																																												
その他の業務活動による支出	6,125																																																																																																												
投資活動による支出	2,995																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	2,969																																																																																																												
その他の投資活動による支出	26																																																																																																												
財務活動による支出	545																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	433																																																																																																												
前地方債償還義務の償還による支出	92																																																																																																												
その他財務活動による支出	20																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	11,028																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

#### 4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理由		1 限度額 ・ 10億円  2 想定される短期借入金の発生理由 ・ 実績なし	—	

#### 5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

#### 6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療心援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	新中央診療棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県立多治見病院として担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。

項目No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
27	※ 職員の就労環境の向上  1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実  2 働き方改革の実現に向けた取組  3 職員のモチベーション向上に資する取組	2 働き方改革の実現に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>院長、副院長を構成員とする働き方改革会議を毎月開催し、各部門ごとの時間外勤務の状況及び各医師の毎月の時間外勤務の推移を把握した。また、月の長時間労働該当医師の診療科部長に対し文書にて注意喚起を行った。</li> <li>年休取得5日未満の職員への取得促進に係る注意喚起を各所属に行った。</li> <li>医師の時間外勤務上限規制の開始（令和6年4月）を見据え、医師を対象とした勤怠管理システムを導入し、勤怠管理の合理化に努めた。</li> <li>働き方改革検討委員会にて、医師の働き方改革、勤務時間短縮計画について協議を行った。</li> <li>前定期健康診断とあわせて、「ストレスチェック」を全職員</li> </ul>	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>再雇用制度の活用により9人の職員数を確保し、就労環境の向上に努めた。また、育児部分休業の活用など、仕事と家庭を両立させるための柔軟な勤務時間体制を推進した結果、育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数は61名となった。</li> <li>定期的に院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行し、相談機能の充実に努めた。</li> </ul> 【有給休暇取得率】 単位：％ <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>25.5</td> <td>44.4</td> <td>43.9</td> <td>40.1</td> <td>44.1</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4	年次休暇	25.5	44.4	43.9	40.1	44.1	IV	働き方改革会議による長時間労働者の把握や注意喚起、有給取得率の向上等についての取り組みを評価
区分\年度	H30	R1	R2	R3	R4												
年次休暇	25.5	44.4	43.9	40.1	44.1												

項目 No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																				
		<p>対象に実施した。(受検率93.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の受診率は99.5% (799人/803人)であり、要精密検査等の指示のあった職員へのフォローも実施した。</li> </ul> <p>【メンタルヘルスケア相談件数】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位: 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>117</td> <td>110</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。</p> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位: 人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>55</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当の支給を継続しモチベーション維持に努めた。</li> </ul>	H30	R1	R2	R3	R4	13	7	8	9	5	H30	R1	R2	R3	R4	117	110	-	-	-	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	利用者数	35	32	39	40	55	61	<table border="1"> <tr> <td>特別休暇</td> <td>90.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>※R1年度に特別休暇(WLB休暇)を年次休暇に加算</p> <p>【医師・看護師事務作業補助者数】 単位: 人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>37</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>	特別休暇	90.4	-	-	-	-	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	37	38	42	37	36	36	病棟事務補助者 (看護クラーク)	16	16	19	18	18	13	合計	53	54	61	55	54	49		
H30	R1	R2	R3	R4																																																																					
13	7	8	9	5																																																																					
H30	R1	R2	R3	R4																																																																					
117	110	-	-	-																																																																					
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																			
利用者数	35	32	39	40	55	61																																																																			
特別休暇	90.4	-	-	-	-																																																																				
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																			
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	37	38	42	37	36	36																																																																			
病棟事務補助者 (看護クラーク)	16	16	19	18	18	13																																																																			
合計	53	54	61	55	54	49																																																																			
28	<p>※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項</p> <p>1 県との連携・強化</p> <p>2 他の地方独立行政法人との連携・強化</p>		<p>1 県との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、同校との連携の強化に努めた。</li> <li>新中央診療棟整備に関する起債について、県医療整備課を通じて財政課と協議した結果、増額されることとなった。燃料費の高騰やロシアのウクライナ侵攻等の影響により、建設物価が高騰し、建設コストも増加傾向にある。公立病院等の施設整備費に対する地方交付税措置の対象となる建築単価の上限額も引き上げられることから、引き続き県へ起債の増額を要望する。</li> </ul>	III	<p>県との連携・強化は推進したが、他の地方独立行政法人との連携・強化はなかったため平年並みと評価。</p>																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																									
29	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 2 医療機器の計画的な更新・整備	1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 ・ 土工事、基礎躯体工事、免震工事の順に進め、現在は躯体・鉄骨建て方工事を行っている。概ね計画どおりに工事が進捗しており、建築工事の進捗率は令和4年度末現在で50.2%となっている。 2 医療機器の計画的な更新・整備 ・ 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画を策定した。 ・ 過剰な整備とならないよう、現場を熟知している臨床工学技士と連携し、機器整備の必要性、妥当性を確認した上で購入機器を決定した。また、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。	(単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">新 棟 建 設</td> <td>建築工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>700</td> <td>2,814</td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>衛生設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エレベーター設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事監理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>730</td> <td>2,985</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療機器等整備</td> <td>183</td> <td>260</td> <td>562</td> <td>358</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設等整備</td> <td>306</td> <td>115</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>489</td> <td>375</td> <td>663</td> <td>1,188</td> <td>3,314</td> </tr> </tbody> </table>	区分		H30	R1	R2	R3	R4	新 棟 建 設	建築工事	—	—	—	700	2,814	電気設備工事	—	—	—	0	0	空調設備工事	—	—	—	0	119	衛生設備工事	—	—	—	0	0	エレベーター設備	—	—	—	0	0	工事監理	—	—	—	30	52		小計	—	—	—	730	2,985		医療機器等整備	183	260	562	358	184		施設等整備	306	115	101	100	145		合計	489	375	663	1,188	3,314	1 内部統制の取組 ・ 内部統制委員会及びリスク管理委員会を3月に開催し、リスクの内容、検討された対応方針、令和5年度の取組みを策定した。 2 内部統制に対する監査及び評価 ・ 各部門に対する内部統制ヒアリングを実施し、在庫管理(薬剤・SPD)プロセス、収益・債権管理(未収金等)プロセス、財務報告(決算等)プロセスについて、確認、検証した。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・ 災害時に院内の被災状況を把握するための情報収集システムを更新した。	IV	新中央診療棟の建設及び医療機器の更新・整備等、着実に進展していることを評価。
区分		H30	R1	R2	R3	R4																																																																								
新 棟 建 設	建築工事	—	—	—	700	2,814																																																																								
	電気設備工事	—	—	—	0	0																																																																								
	空調設備工事	—	—	—	0	119																																																																								
	衛生設備工事	—	—	—	0	0																																																																								
	エレベーター設備	—	—	—	0	0																																																																								
	工事監理	—	—	—	30	52																																																																								
	小計	—	—	—	730	2,985																																																																								
	医療機器等整備	183	260	562	358	184																																																																								
	施設等整備	306	115	101	100	145																																																																								
	合計	489	375	663	1,188	3,314																																																																								
30	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の取組 ・ 内部統制委員会及びリスク管理委員会を3月に開催し、リスクの内容、検討された対応方針、令和5年度の取組みを策定した。 2 内部統制に対する監査及び評価 ・ 各部門に対する内部統制ヒアリングを実施し、在庫管理(薬剤・SPD)プロセス、収益・債権管理(未収金等)プロセス、財務報告(決算等)プロセスについて、確認、検証した。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・ 災害時に院内の被災状況を把握するための情報収集システムを更新した。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																												
31	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。</li> </ul> <p>【企業債償還額(元本)】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還月</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>525</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況(合計)】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,603</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>2,634</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>525</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>1,485</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金償還額 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>1,149</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>434</td> </tr> </tbody> </table>	償還月	金額	9月	262	3月	263	計	525	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	第2期中期計画期間計	2,634	R 2	527	R 3	448	R 4	525	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,211	第2期中期計画期間計	1,485	R 2	167	R 3	90	R 4	91	年度	実績	第1期中期計画期間計	392	第2期中期計画期間計	1,149	R 2	360	R 3	358	R 4	434	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金額																																																
9月	262																																																
3月	263																																																
計	525																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	3,603																																																
第2期中期計画期間計	2,634																																																
R 2	527																																																
R 3	448																																																
R 4	525																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	3,211																																																
第2期中期計画期間計	1,485																																																
R 2	167																																																
R 3	90																																																
R 4	91																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	392																																																
第2期中期計画期間計	1,149																																																
R 2	360																																																
R 3	358																																																
R 4	434																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R4年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																								
32	※ 中期目標の期間における主な計画数値	<p>令和4年度計画における主な計画数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央診療棟の整備</td> <td>5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 39.0人 外来 1,080人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 4,500件 中央放射線・内視鏡 2,900件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>470人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 90.0% 入院 97.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度目標	新中央診療棟の整備	5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事	入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 39.0人 外来 1,080人	手術件数(年間)	手術室 4,500件 中央放射線・内視鏡 2,900件	高精度放射線治療患者数(年間)	470人	DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)	80.0%	病床利用率(全病床・年間)	80.0%	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%	患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%	後発医薬品使用率(数量ベース)	92.0%	<p>左記計画数値に対する実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央診療棟の整備</td> <td>5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 36.1人 外来 1,086人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 4,612件 中央放射線・内視鏡 3,228件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>435人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)</td> <td>77.1%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>72.0%</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 73.3% 逆紹介率 100.5%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 81.6% 入院 94.6%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>89.79%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度実績	新中央診療棟の整備	5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事	入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 36.1人 外来 1,086人	手術件数(年間)	手術室 4,612件 中央放射線・内視鏡 3,228件	高精度放射線治療患者数(年間)	435人	DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)	77.1%	病床利用率(全病床・年間)	72.0%	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 73.3% 逆紹介率 100.5%	患者満足度(調査期間)	外来 81.6% 入院 94.6%	後発医薬品使用率(数量ベース)	89.79%	Ⅲ	達成された目標がある一方で、未達成となった項目も存在した。
主な目標・計画	年度目標																																												
新中央診療棟の整備	5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事																																												
入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 39.0人 外来 1,080人																																												
手術件数(年間)	手術室 4,500件 中央放射線・内視鏡 2,900件																																												
高精度放射線治療患者数(年間)	470人																																												
DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)	80.0%																																												
病床利用率(全病床・年間)	80.0%																																												
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%																																												
患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%																																												
後発医薬品使用率(数量ベース)	92.0%																																												
主な目標・計画	年度実績																																												
新中央診療棟の整備	5月から基礎躯体・免震工事 10月から躯体・鉄骨建て方工事																																												
入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 36.1人 外来 1,086人																																												
手術件数(年間)	手術室 4,612件 中央放射線・内視鏡 3,228件																																												
高精度放射線治療患者数(年間)	435人																																												
DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率(年間)	77.1%																																												
病床利用率(全病床・年間)	72.0%																																												
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 73.3% 逆紹介率 100.5%																																												
患者満足度(調査期間)	外来 81.6% 入院 94.6%																																												
後発医薬品使用率(数量ベース)	89.79%																																												
33	※ 積立金の使途		<ul style="list-style-type: none"> <li>前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。</li> </ul>	Ⅲ	計画に則って資金留保できている。																																								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況